



2005年度

# 中間決算説明会

第82期: 中間期(平成17年4月1日~9月30日)

2005.11.14

**太平洋工業株式会社**

一滴のしずくが川の流れとなり、太平洋に注ぎ雲を呼び雨となる。

1930年、2gのバルブコアで創業した当社も事業の幅を広げ、今では海外に5カ国8会社を持つまでに成長した。

四位一体でのものづくり・ひとづくりをベースに地球環境保全に努め、開発型企业として世界に貢献していきたい。



# 目次

1. 会社の概要
2. 2005年度 中間期実績
3. 2005年度 通期業績予想
4. 中・長期経営計画

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 当社の概要

- ◆創業            1930年8月
- ◆代表者        社長 小川信也
- ◆資本金        43億2千万円
- ◆株式           東証・名証一部上場('70年8月)  
                  (証券コード 7250)
- ◆事業所        国内5工場  
  
                  国内3社、海外5ヶ国10社
- ◆売上高        438億円('04年度単独)  
                  571億円('04年度連結)
- ◆従業員        1,250人 グループ:2,800人
- ◆ホームページ <http://www.pacific-ind.co.jp/>
- ◆TPM優秀賞                            1996年10月  
                  ISO/QS9000認証取得    1999年5月  
                  ISO14001認証取得      2000年10月
- ◆生産累計     バルブコア100億本('03)  
                  タイヤバルブ50億本('03)



## 1-2 企業理念・経営理念

### 企業理念

わが社はメーカーとして、

1. 技術開発に努め、お客様の要望に応えた高いレベルの商品を提供していきます。

→

#### 品質理念

2. 人間尊重を基本に、社員が“働く楽しみ”、“造る満足”を得る“場”を提供していきます。

3. 地球環境保全に努め、社会から期待される“良い会社”でありつづけます。

→

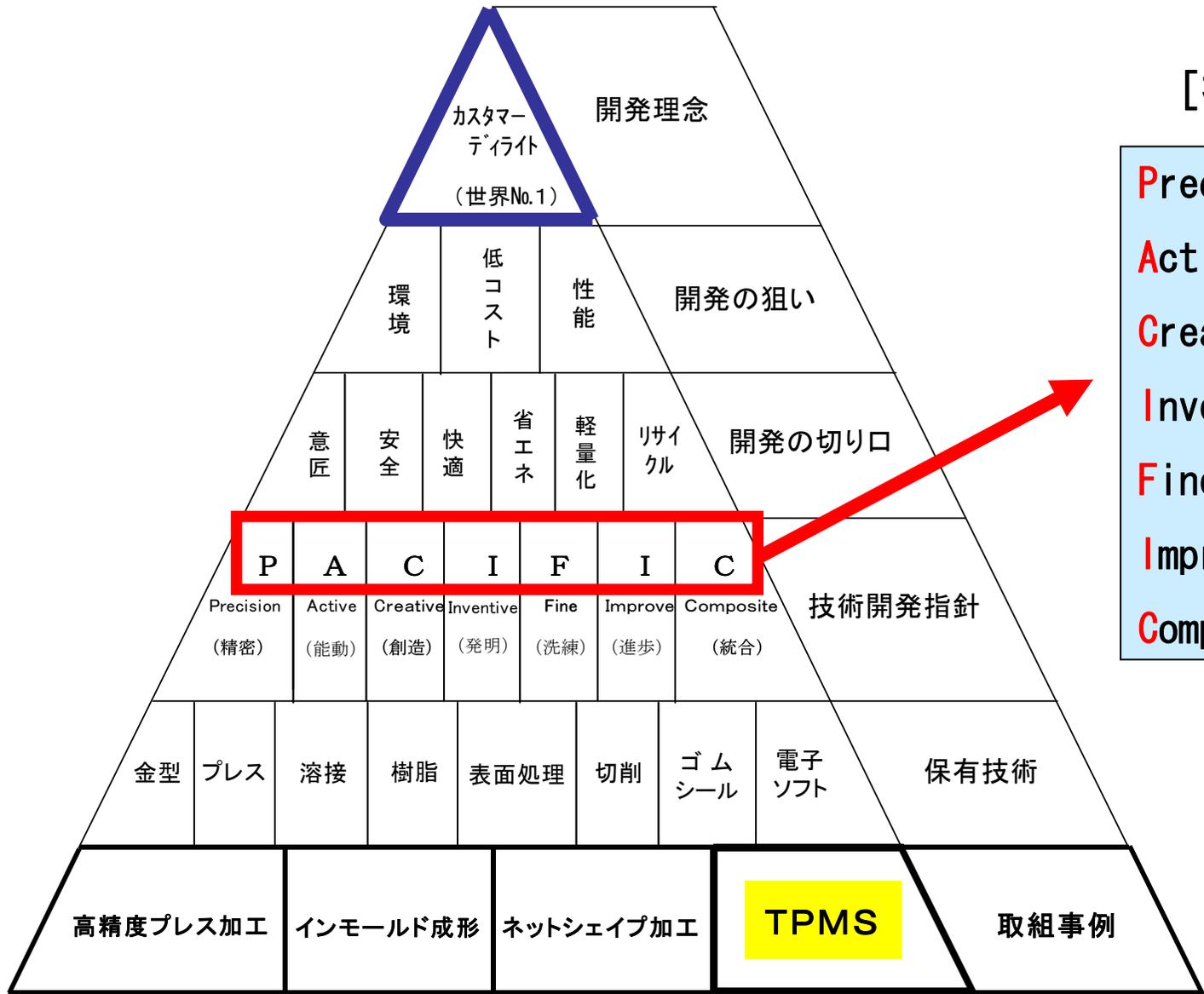
#### 環境理念

### 経営理念

オープンでクリエイティブな経営  
e-companyの実現

engineering	: 技術を売り物に
ecology	: 環境に配慮し
e-business	: eビジネス
emotional	: 活かに溢れ
efficiency	: 効率的に仕事をし
enrich	: 収益を確保しながら
enjoy	: 豊かな生活を楽しむ

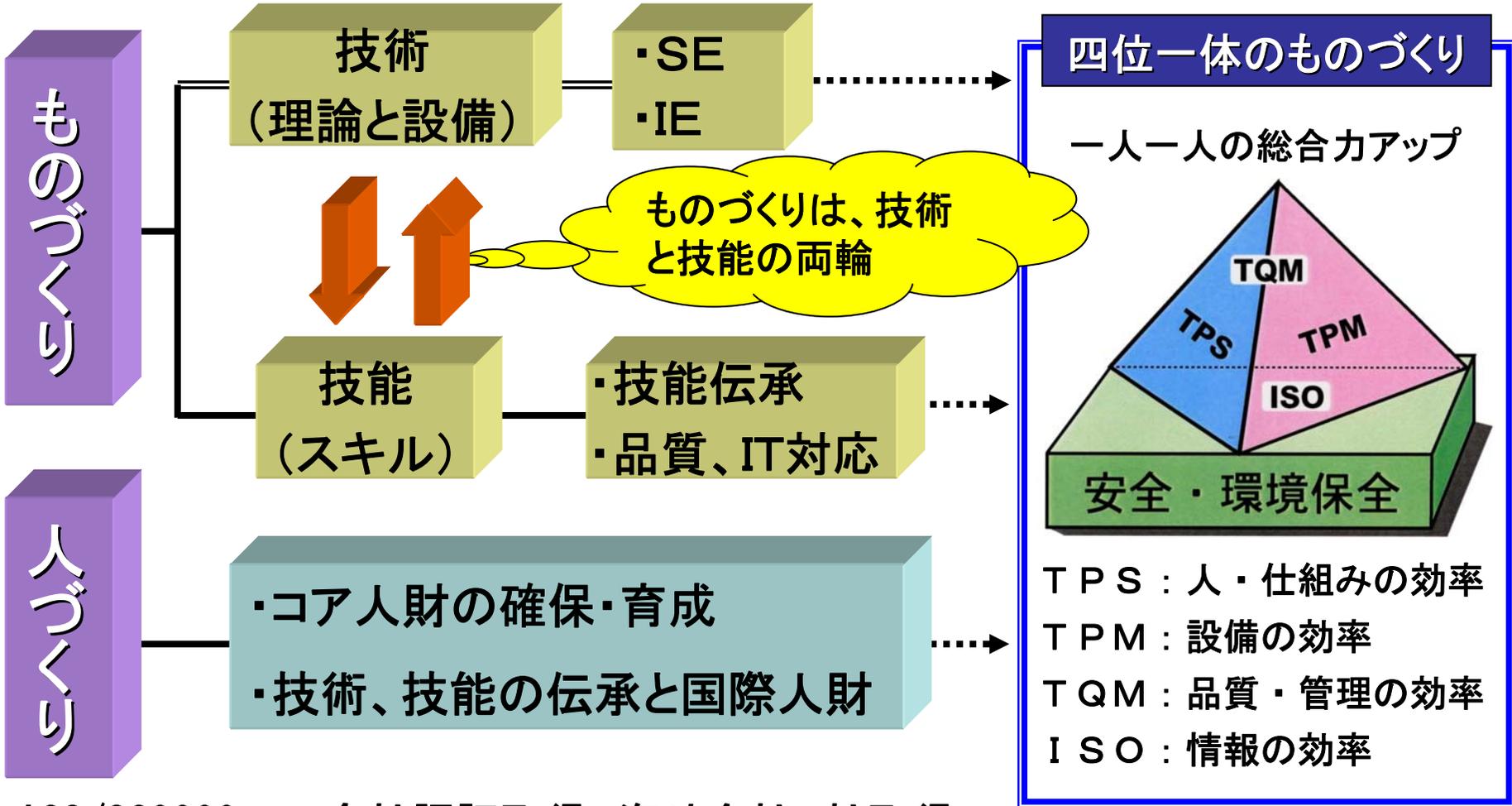
# 1-3 技術開発戦略



## [技術開発指針]

- Precision : 精密
- Active : 能動
- Creative : 創造
- Inventive : 発明
- Fine : 洗練
- Improve : 進歩
- Composite : 総合

# 1-4 ものづくりの理念



ISO/QS9000 ... 全社認証取得。海外会社4社取得。

ISO 14001 ... 全社認証取得。国内関係会社全社取得。  
海外会社3社取得。

# 1-5 CSRへの取組み

**CSR本部**

本部長: 社長 小川信也

【位置付け】

**CSR会議**

CSR活動全体の統括

議長: 社長 小川信也

メンバー: 全役員

**コンプライアンス  
委員会**

企業倫理・法令遵守の推進基盤の整備、  
遵守度チェック、信賞必罰検討

議長: 会長 近藤静馬

**RM委員会**

中長期に及ぶリスクの適正管理、  
緊急リスクへの対応推進

議長: 取締役常務執行役員 吉田守孝

**危機管理  
委員会**

自然災害、重大事故の事前対策、  
発生時対策、復旧対策

議長: 取締役常務執行役員 畑 康則

**環境委員会**

総合的なEMS活動を推進  
(開発から生産・出荷、サプライチェーンを  
含む環境保全と環境管理)

議長: 取締役専務執行役員 浅井重雄

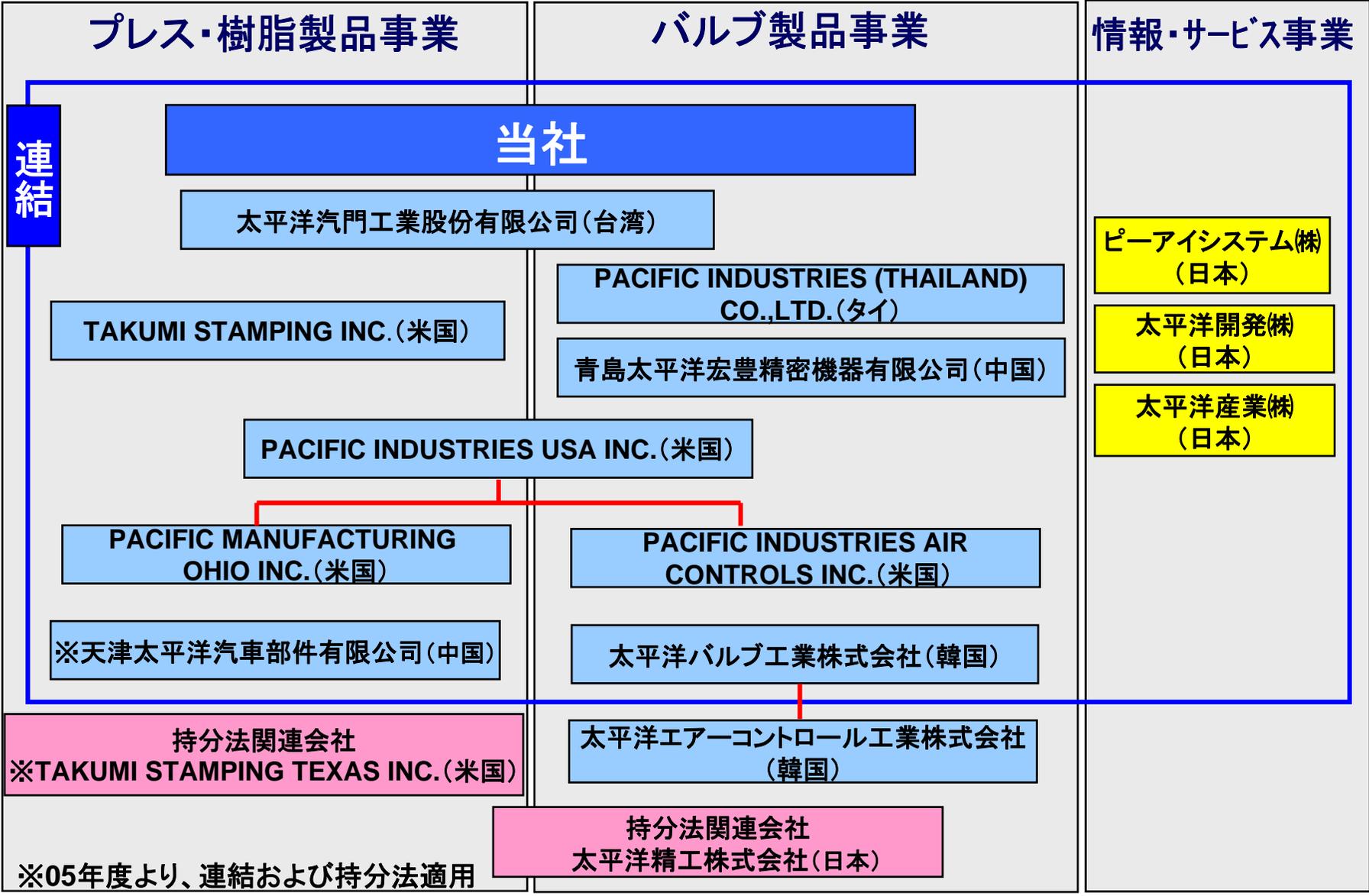
# 1-6 事業の概要

セグメント 事業		プレス樹脂製品 事業 P	バルブ製品事業			情報 サービス	合計
			タイヤバルブ事業 V	制御機器事業 C	TPMS事業 T		
単 独	売上高('04)	313億円 72%	44億円 10%	58億円 13%	23億円 5%	—	438億円
	人 員	770人	160人	200人	50人	—	1,250人
	主要工場	西大垣、東大垣 養老	美濃、北大垣	北大垣	北大垣	—	国内5工場
連 結	売上高('04)	432億円 76%	133億円 23%			6億円 1%	571億円
	人 員	1,570人	790人			140人	2,570人
	海外生産拠点	台湾、米国(2) 中国	台湾、韓国、米国 タイ	中国、韓国	—	—	5ヶ国 10会社
主要顧客		トヨタ、ダイハツ、日野 三菱、ホンダ、スズキ デンソー、豊田自動織機 松下電器	ブリヂストン、横浜ゴム 住友ゴム、東洋ゴム 現代自、韓国タイヤ 正新	デンソー、豊田自動織機 三菱電機、松下電器 東芝、シャープ、ダイワ精工 LG電子、海爾	トヨタ	太平洋工業 地域企業	
主要製品		プレス加工 樹脂加工、金型	タイヤバルブ バルブコア	空調用制御弁	TPMS	ゴルフ場 人材派遣 油脂販売 ソフトウェア	

# 1-7 企業結合の状況

連結:12社  
持分法:2社

- 国内子会社
- 海外子会社
- 持分法適用会社



# 1-8 グループ会社の概要

## 1. 連結グループ会社：12社

区分	グループ会社名	事業分野				主な事業内容	設立	出資比率	'04 売上高	人員
		P	V	C	情報・サービス					
国内	ピーアイシステム株式会社				●	情報処理、ソフト開発・販売	1987年	100%	6.5億円	47人
	太平洋開発株式会社				●	ゴルフ場経営(養老CC)	1972年	49%	3.1億円	30人
	太平洋産業株式会社				●	SS経営、保険代理業務、人材派遣業	1974年	98.70%	17.2億円	64人
	国内連結グループ会社 計								27億円	141人
海外	Pacific Industries USA Inc. (PIU)	(持株会社)				下記米国2社の統括管理	1988年	100%	—	—
	Pacific Industries Air Controls Inc.		●	●		バルブ関連製品の製造・販売	1999年 <sup>(PIU)</sup>	100%	12.7億円	28人
	Pacific Manufacturing Ohio Inc.	●				自動車用プレス製品の製造・販売	1999年 <sup>(PIU)</sup>	100%	82.8億円	437人
	Takumi Stamping Inc.	●				自動車用小物プレス製品の製造・販売	2001年	60%	18.8億円	142人
	台湾 太平洋汽門工業股份有限公司	●	●	●		自動車用プレス製品・バルブ関連製品の製造・販売	1984年	99.20%	43.3億円	227人
	韓国 太平洋バルブ工業株式会社 (PVI)		●	●		バルブ関連製品の製造・販売	1987年	99.50%	13.6億円	91人
	韓国 太平洋エアークントロール工業株式会社			●		カーエアコン部品の製造	2004年 <sup>(PVI)</sup>	100%	(非連結)	5人
	タイ Pacific Industries(Thailand) Co.,Ltd.		●			バルブ関連製品の製造・販売	1989年	75%	6.7億円	93人
	中国 青島太平洋宏豊精密機器有限公司			●		空調用バルブ関連製品の製造・販売	2000年	55%	4.3億円	157人
	中国 天津太平洋汽車部件有限公司	●				自動車用プレス製品の製造・販売	2005年	100%	(05年より連結)	—
海外連結グループ会社 計								182億円	1,180人	

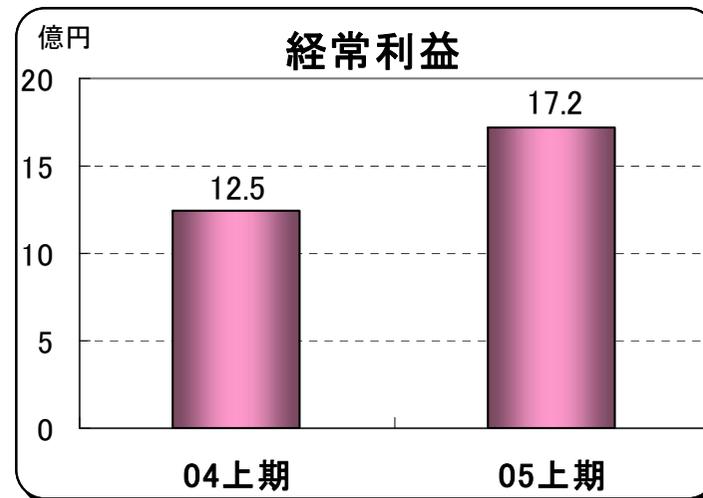
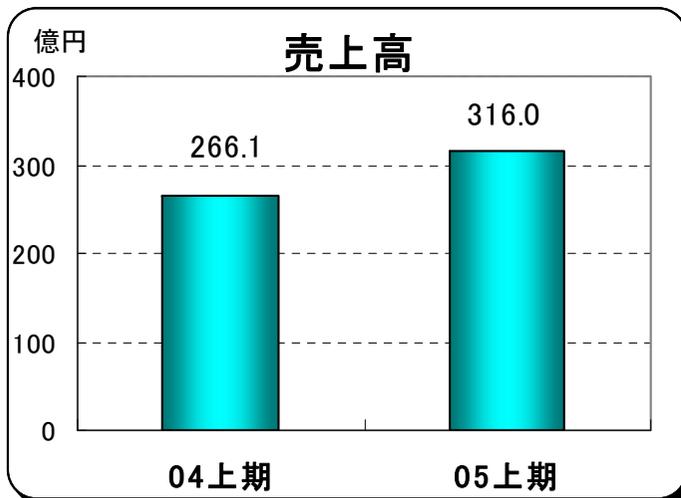
## 2. 持分法適用会社：2社

国内	太平洋精工株式会社	●		●		オートフューズ・電気小物製品の製造・販売	1961年	20%	128億円	255人
海外(米国)	Takumi Stamping Texas Inc.	●				自動車用小物プレス製品の製造・販売	2005年	20%	(05年より持分法)	—

# 2-1 連結業績の対前年同期比較

(百万円、%)

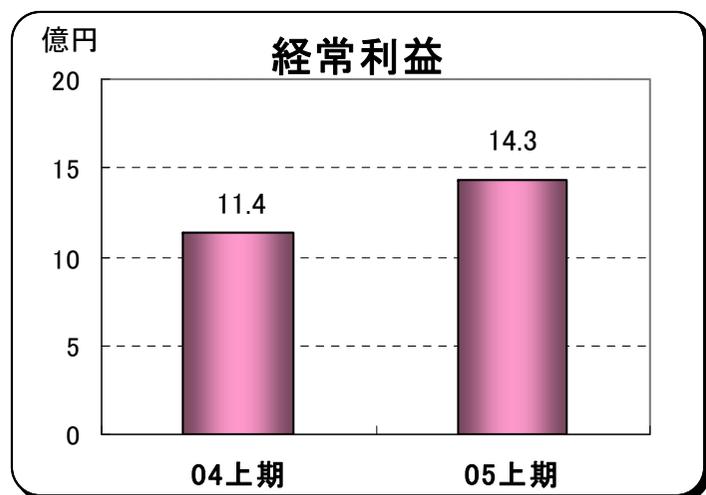
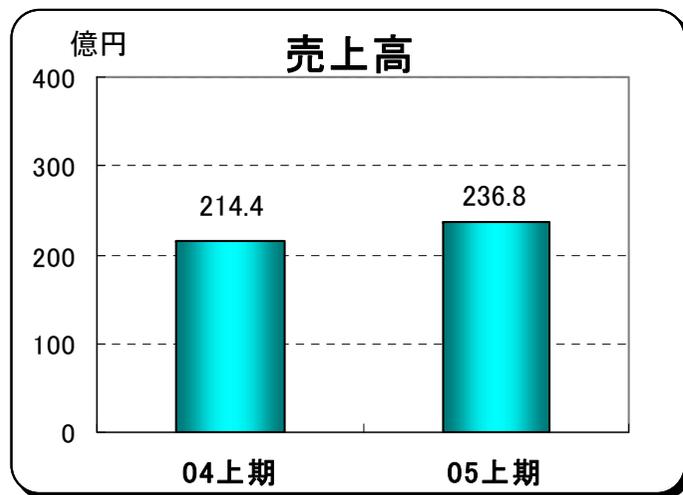
	前中間期	当中間期				前中間期比	
		前回発表値	実績	発表値比		増減	増減率
				増減	増減率		
売上高	26,617	31,500	31,604	104	+0.3	4,986	+18.7
営業利益	933 3.5%	1,650 5.2%	1,596 5.1%	△54	△3.3	663	+71.1
経常利益	1,257 4.7%	1,700 5.4%	1,728 5.5%	28	+1.6	470	+37.4
中間純利益	776 2.9%	△300 △1.0%	60 0.2%	360	-	△715	△92.2



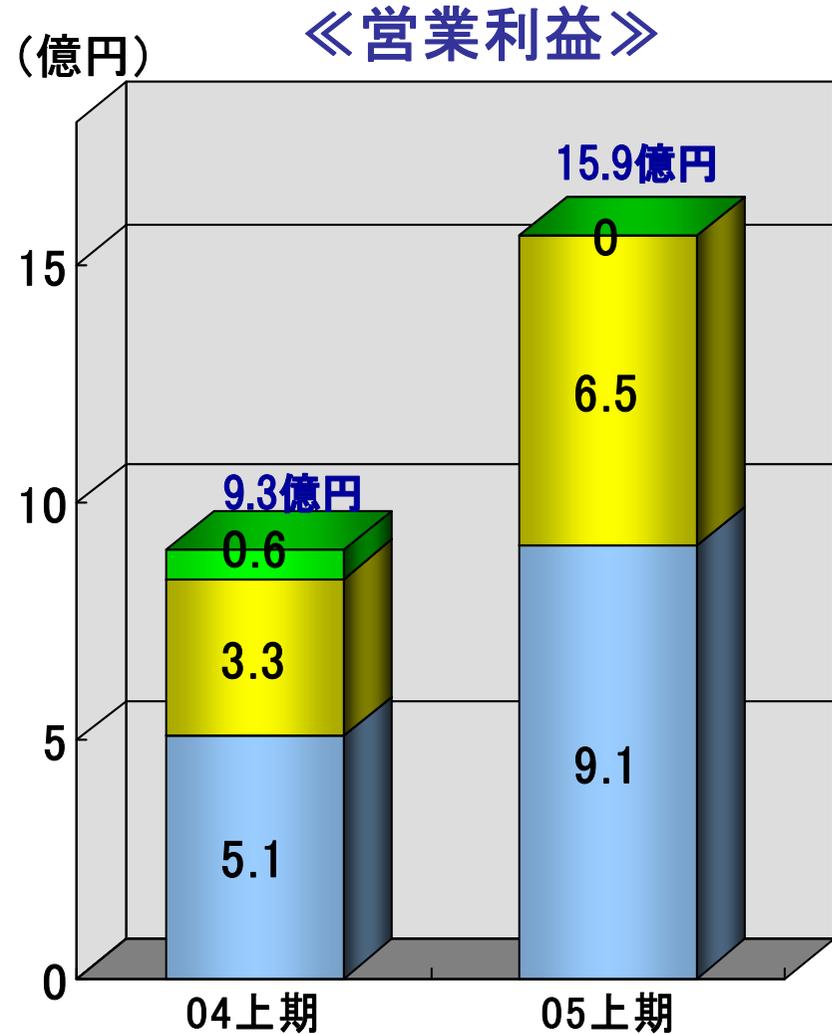
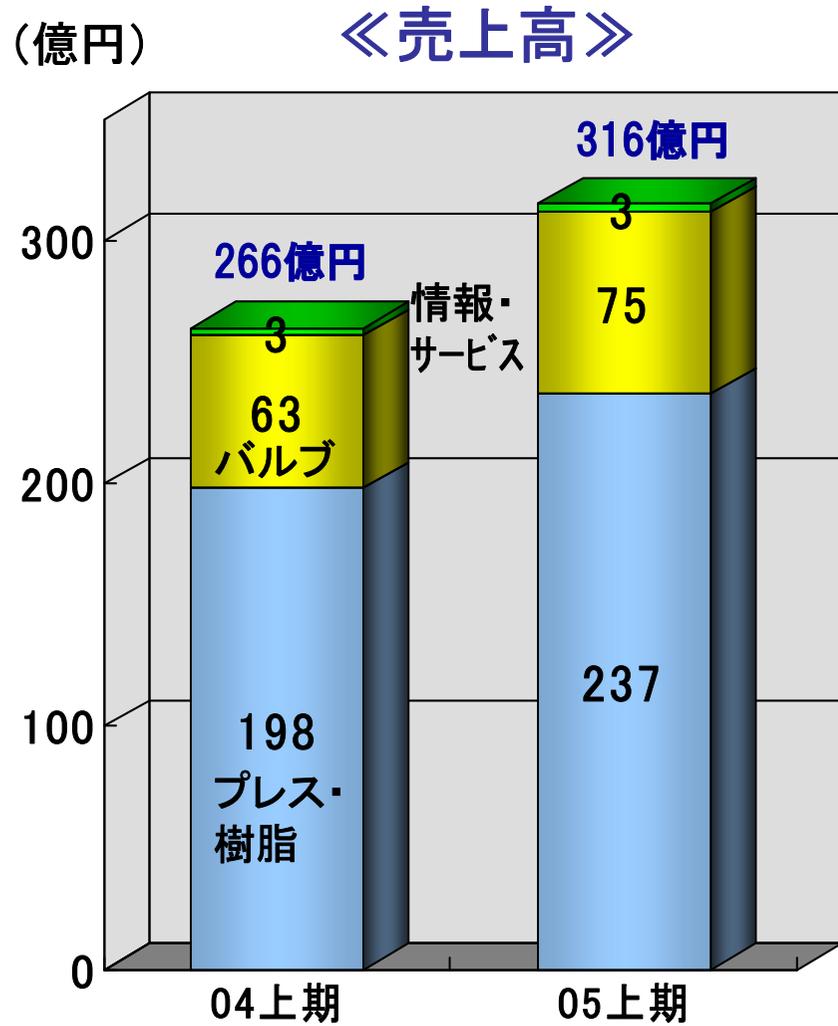
# 2-2 個別業績の対前年同期比較

(百万円、%)

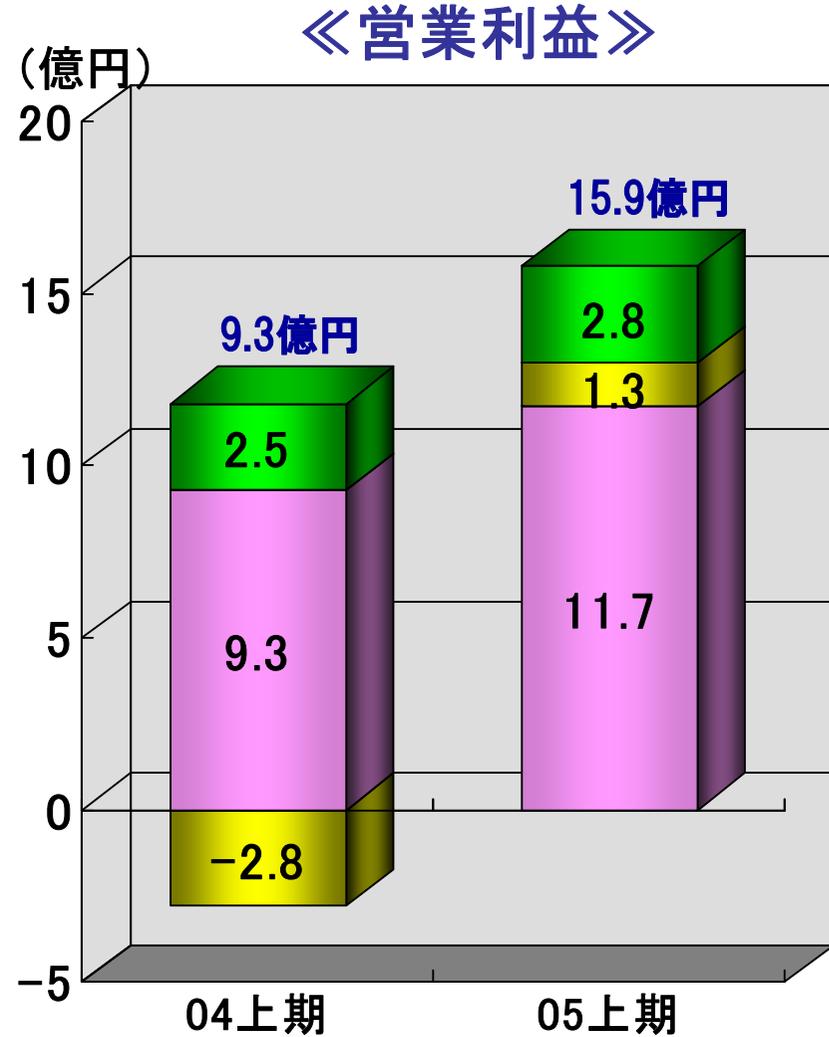
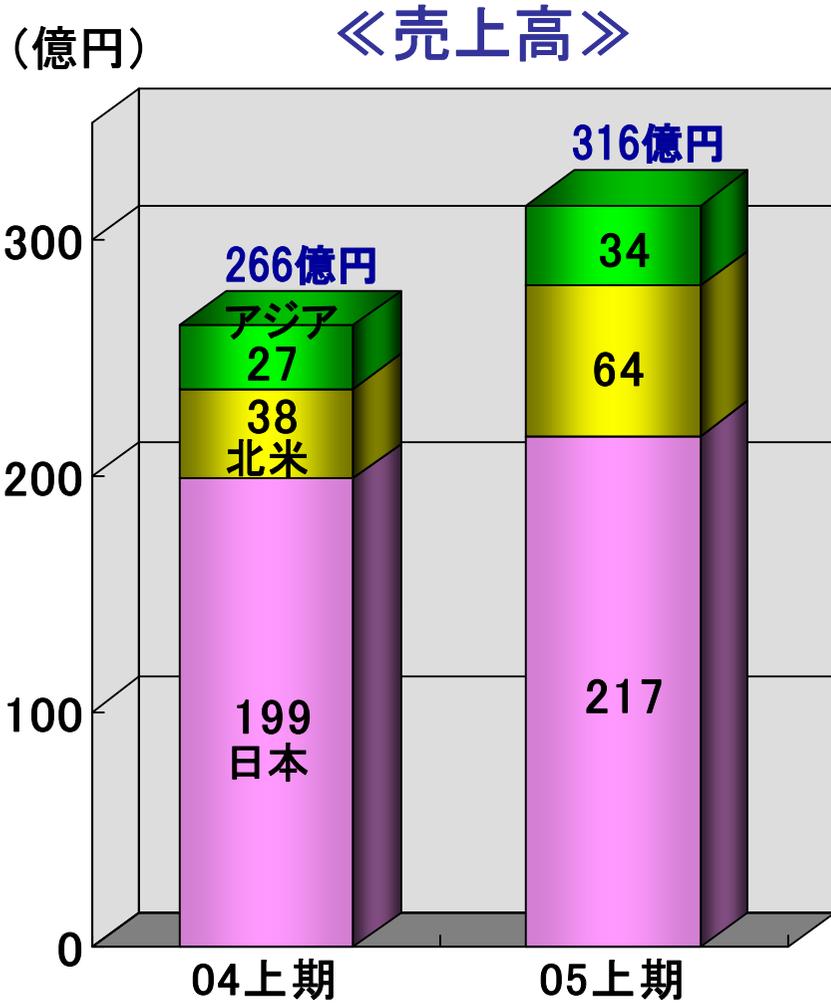
	前中間期	当中間期				前中間期比	
		前回発表値	実績	発表値比			
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	21,448	23,500	23,688	188	+0.8	2,239	+10.4
営業利益	856 4.0%	1,100 4.7%	1,156 4.9%	56	+5.1	300	+35.0
経常利益	1,149 5.4%	1,300 5.5%	1,430 6.0%	130	+10.0	280	+24.4
中間純利益	703 3.3%	△324 △1.4%	△238 △1.0%	86	△26.5	△941	-



# 2-3 連結事業別セグメント

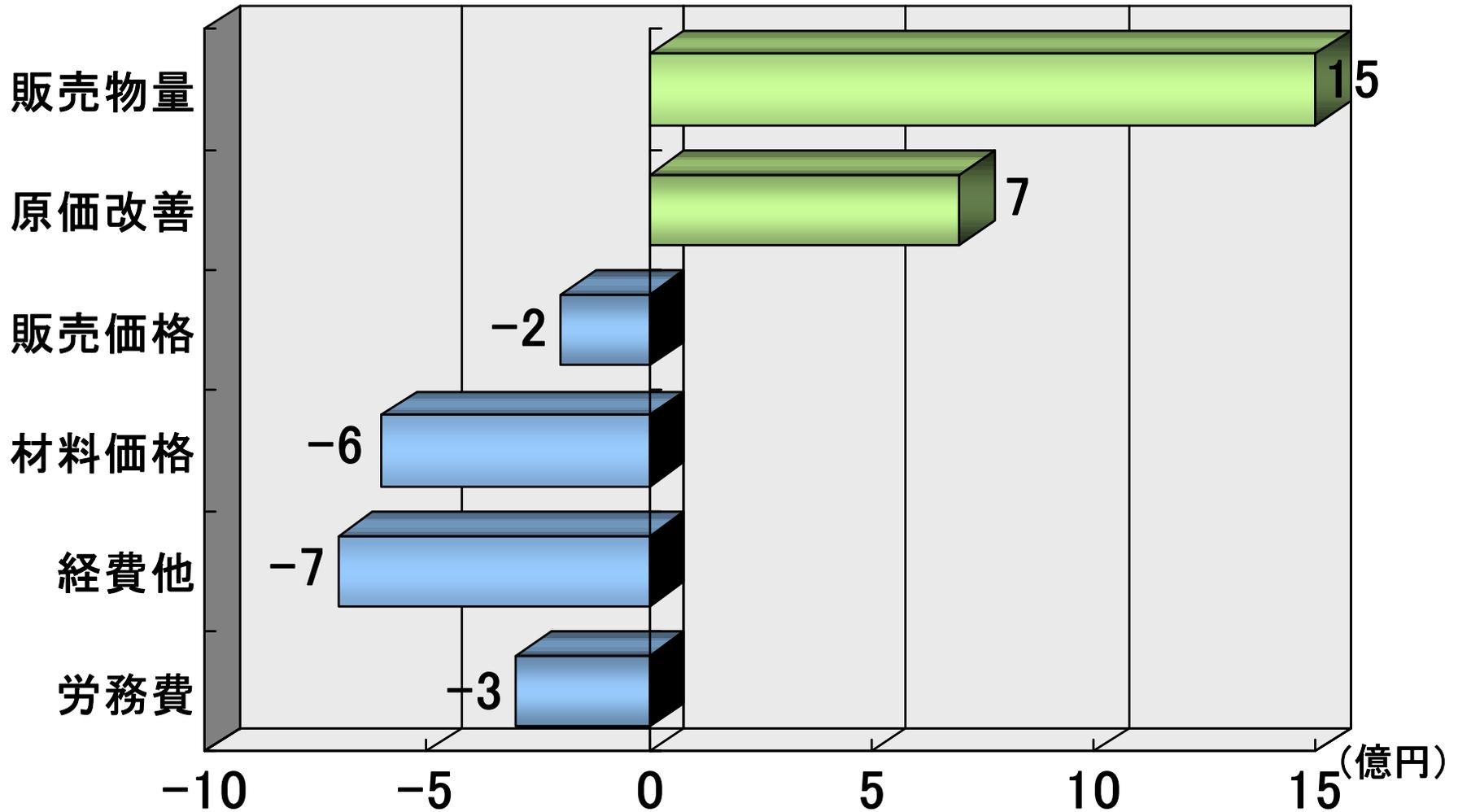


# 2-4 連結地域別セグメント

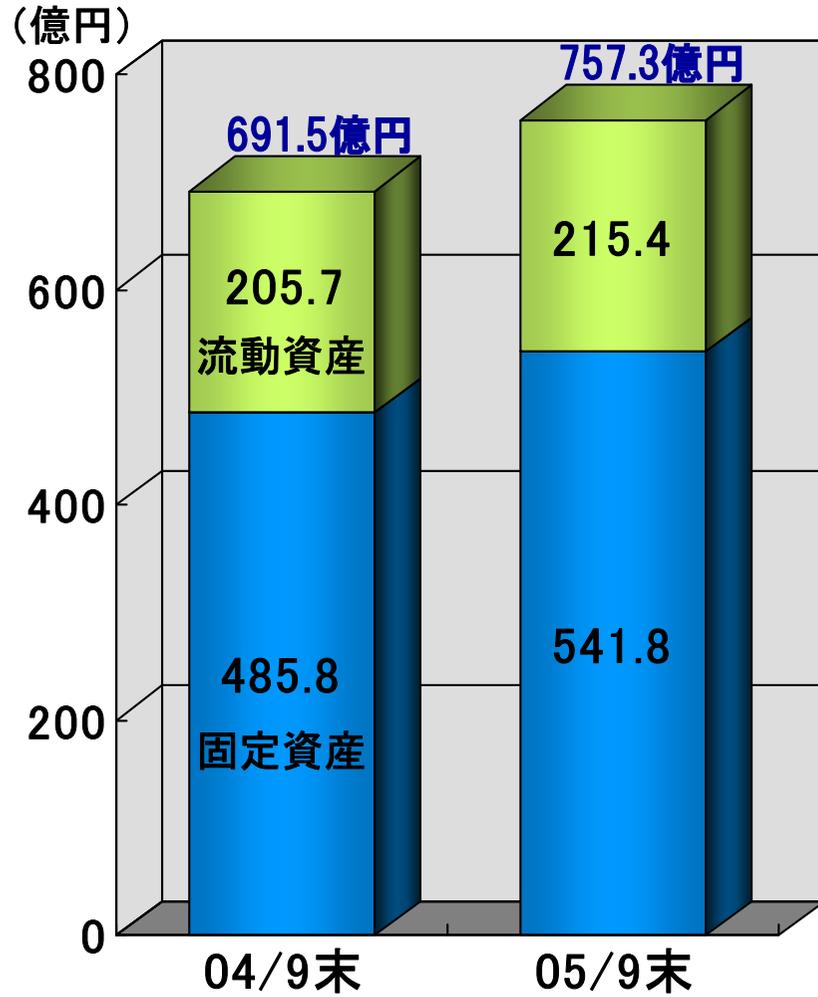


# 2-5 連結經常利益 増減要因

《05上期対04上期 經常利益 +4億円》

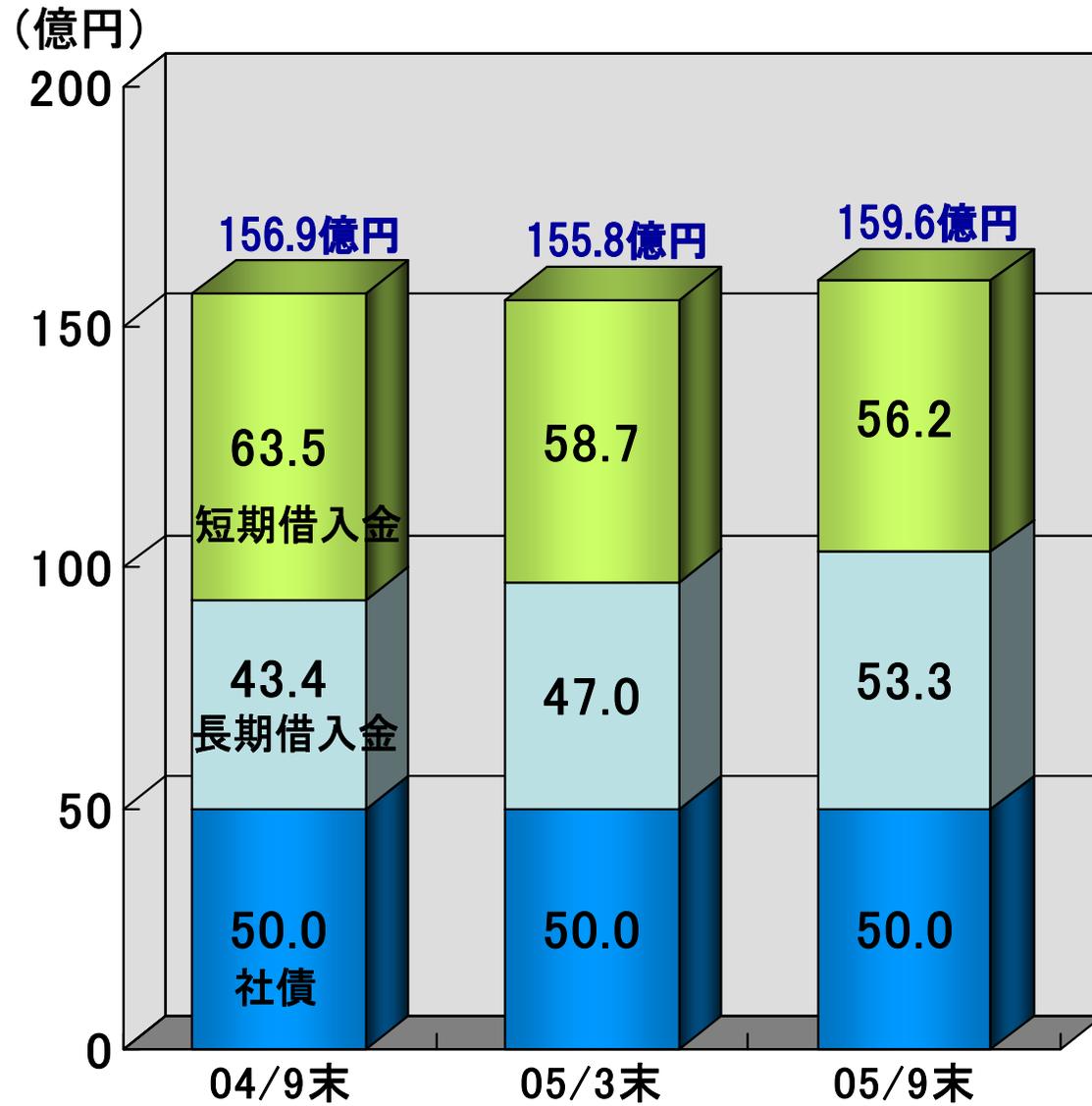


# 2-6 連結総資産 増減内訳

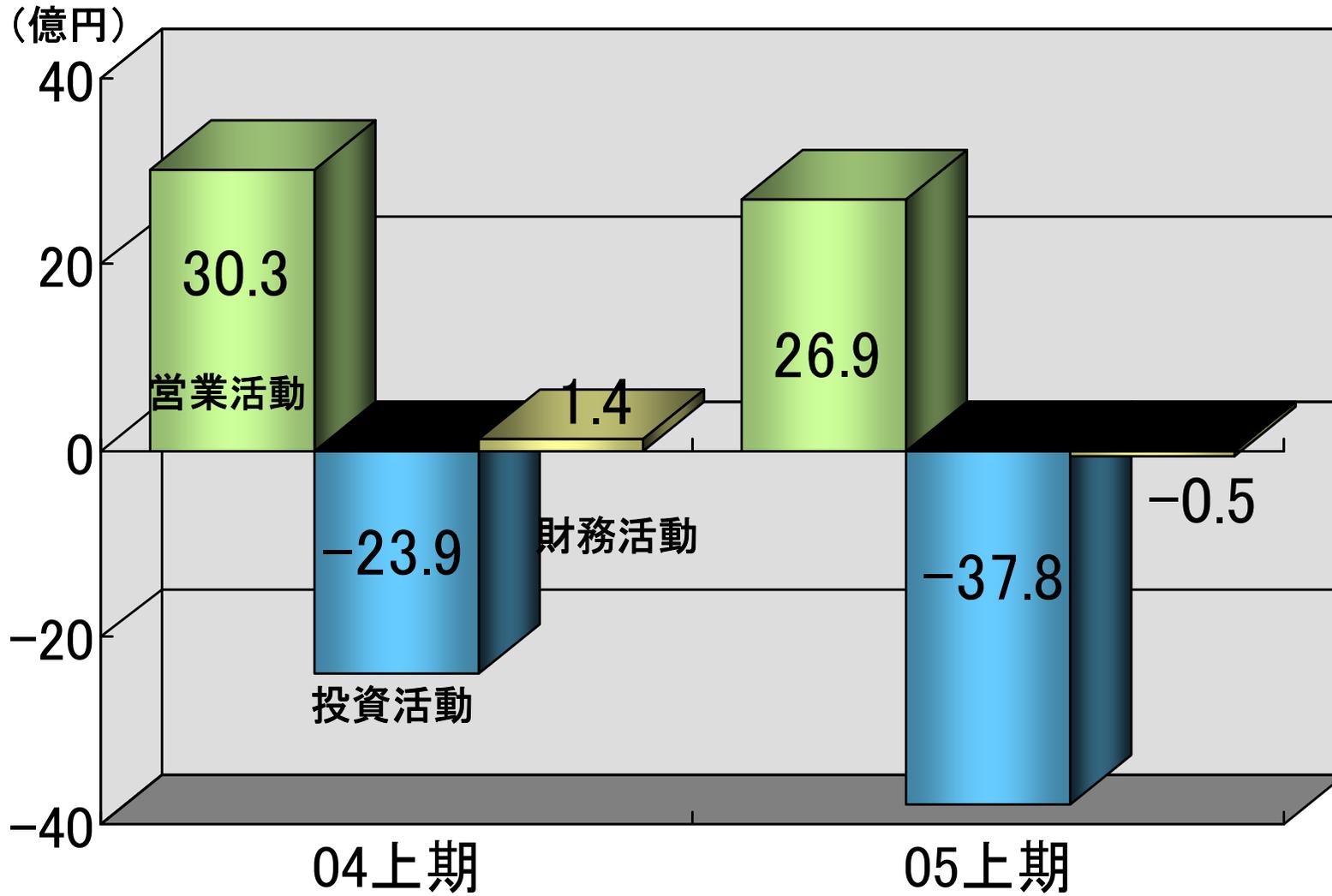


<span style="color: green;">■</span> <b>流動資産</b>	<b>+9.7億円</b>
・ 現金・預金	△4.4
・ 売掛金	+13.0
・ その他	+1.1
<span style="color: blue;">■</span> <b>固定資産</b>	<b>+56.0億円</b>
・ 有形固定資産	+9.5
・ 無形固定資産	△0.6
・ 投資その他	+47.1
<b>合計</b>	<b>+65.7億円</b>

# 2-7 連結 資金調達状況



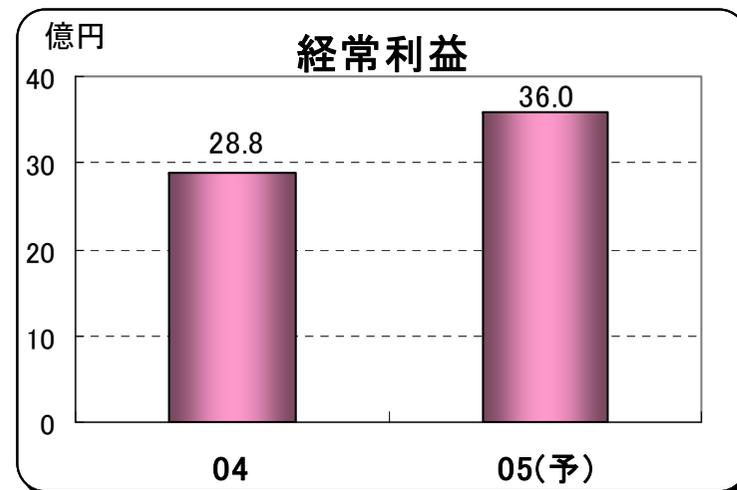
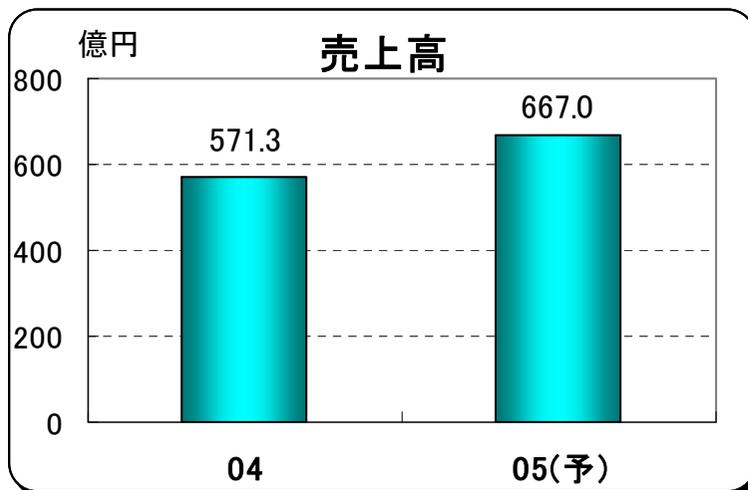
# 2-8 連結キャッシュフロー



# 3-1 連結業績予想

(百万円、%)

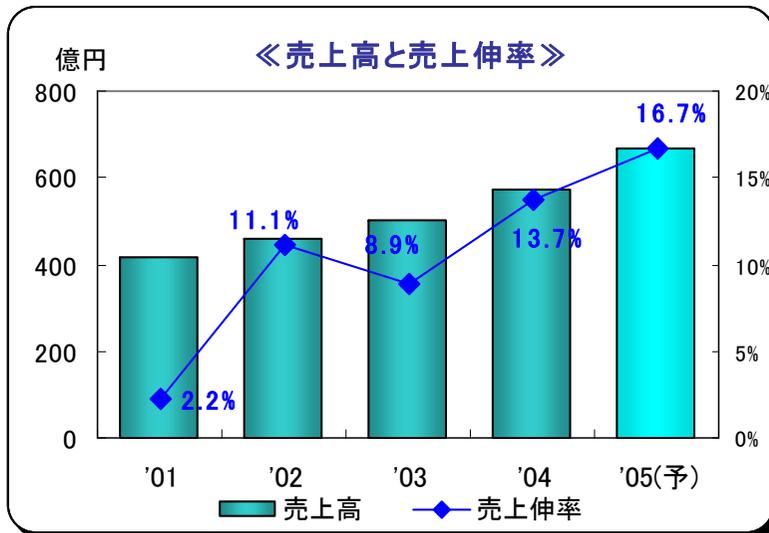
	前 期	当 期				前 期 比		連 単 倍 率
		前回発表値	今回予想	発表値比		増減	増減率	
				増減	増減率			
売上高	57,135	64,000	66,700	2,700	+4.2	9,565	+16.7	1.3
営業利益	2,395 <small>4.2%</small>	3,150 <small>4.9%</small>	3,500 <small>5.2%</small>	350	+11.1	1,105	+46.1	1.2
経常利益	2,882 <small>5.0%</small>	3,200 <small>5.0%</small>	3,600 <small>5.4%</small>	400	+12.5	718	+24.9	1.1
当期純利益	1,811 <small>3.2%</small>	600 <small>0.9%</small>	1,100 <small>1.6%</small>	500	+83.3	△711	△39.3	1.2



# 3-2 連結業績推移

[百万円]

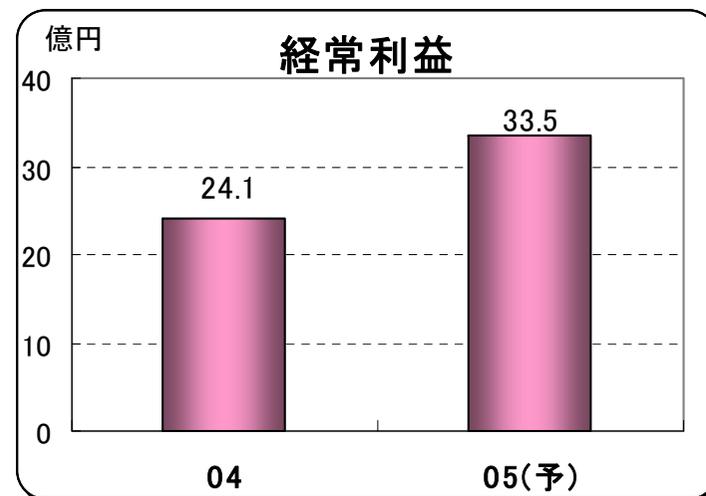
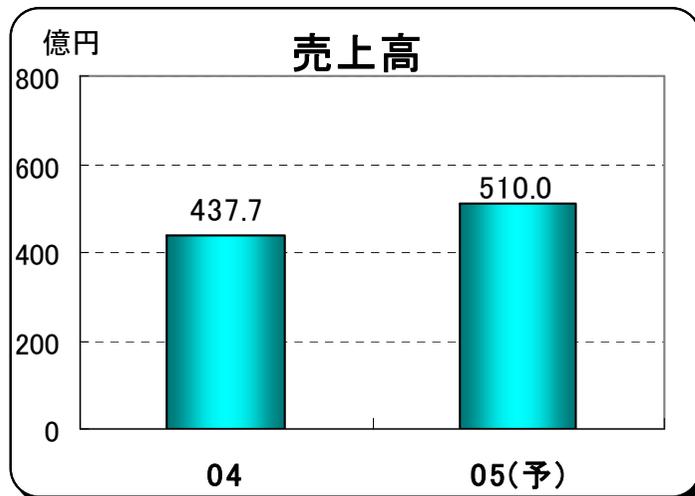
	'01	'02	'03	'04	'05(予)	
売上高	41,517	46,129	50,255	57,135	66,700	7期連続の増収
営業利益	903	1,364	1,253	2,395	3,500	2期連続の増益
経常利益	1,318	1,473	1,436	2,882	3,600	2期連続の増益
当期純利益	80	1,320	393	1,811	1,100	2期振りの減益
売上高 経常利益 高率	3.2%	3.2%	2.9%	5.0%	5.4%	売上高 営業利益 経常利益 は過去最高 の予想
R O E	0.3%	4.3%	1.3%	5.6%	3.1%	
R O A	2.3%	2.4%	2.2%	4.1%	4.7%	
一株当り 純資産	(円) 570	554	585	620	685	



# 3-3 個別業績予想

(百万円、%)

	前 期	当 期				前 期 比	
		前回発表値	今回予想	発表値比			
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	43,773	48,900	51,000	2,100	+4.3	7,227	+16.5
営業利益	1,896 4.3%	2,450 5.0%	2,850 5.6%	400	+16.3	954	+50.3
経常利益	2,410 5.5%	2,800 5.7%	3,350 6.6%	550	+19.6	940	+39.0
当期純利益	1,454 3.3%	626 1.3%	900 1.8%	274	+43.8	△554	△38.1



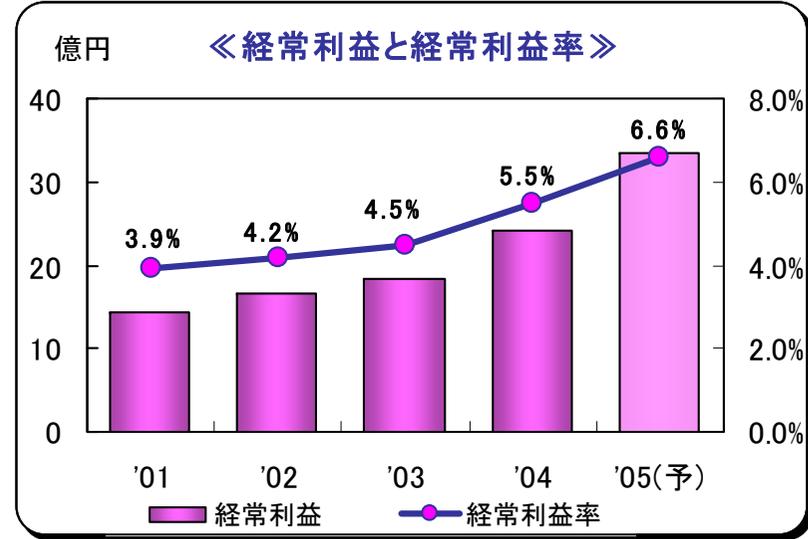
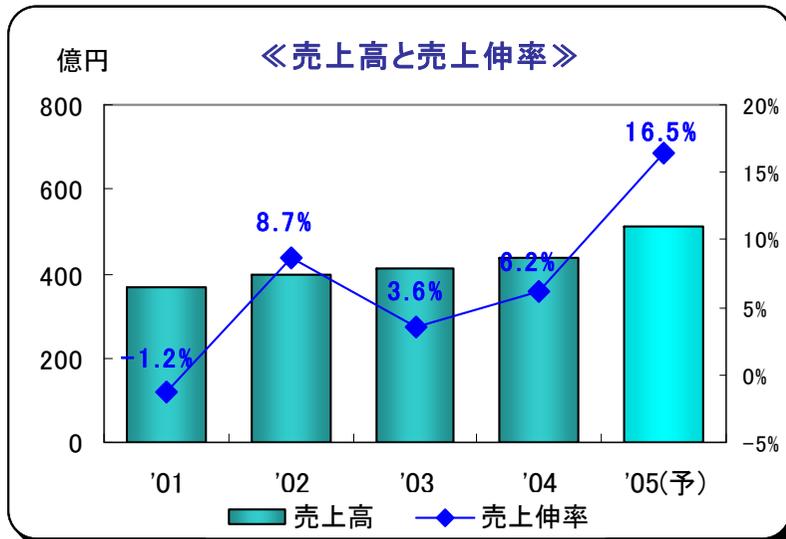
# 3-4 個別業績推移

[百万円]

	'01	'02	'03	'04	'05(予)
売上高	36,618	39,789	41,218	43,773	51,000
営業利益	914	1,358	1,566	1,896	2,850
経常利益	1,428	1,656	1,846	2,410	3,350
当期純利益	197	1,498	812	1,454	900
売上高 経常利益 高率	3.9%	4.2%	4.5%	5.5%	6.6%
R O E	0.7%	5.2%	2.7%	4.5%	2.6%
R O A	2.9%	3.1%	3.2%	4.0%	5.0%
一 株 当 り 純 資 産	(円) 530	528	585	612	666

4期連続の増収  
4期連続の増益  
4期連続の増益  
2期振りの減益

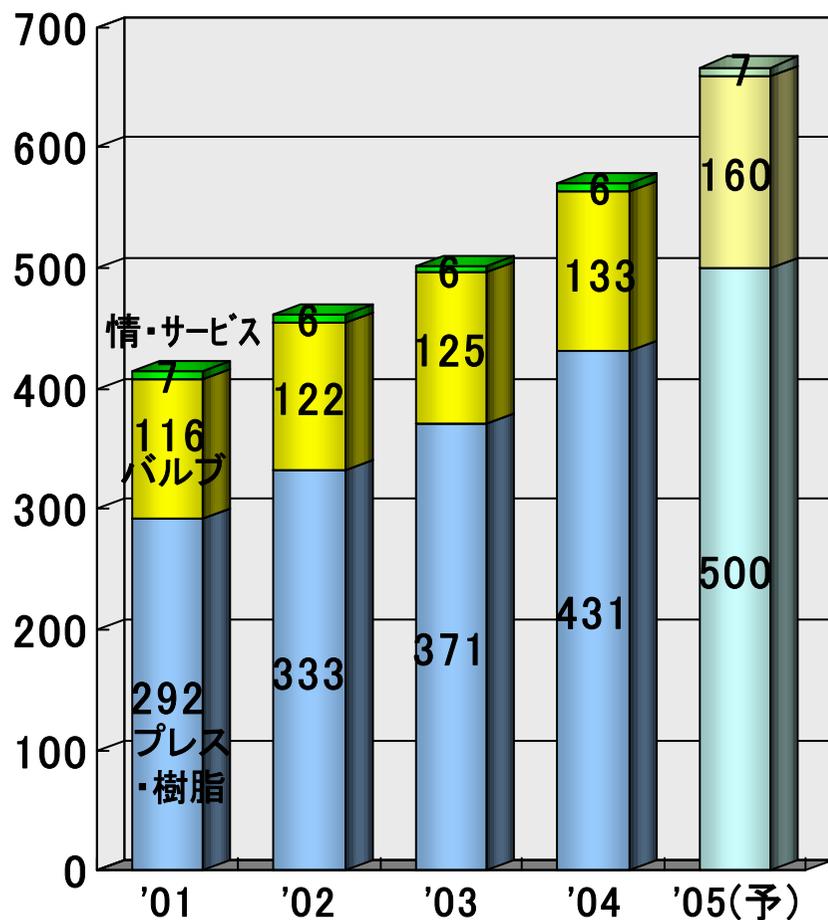
売上高  
営業利益  
経常利益  
は過去最高  
の予想



# 3-5 連結事業別セグメント

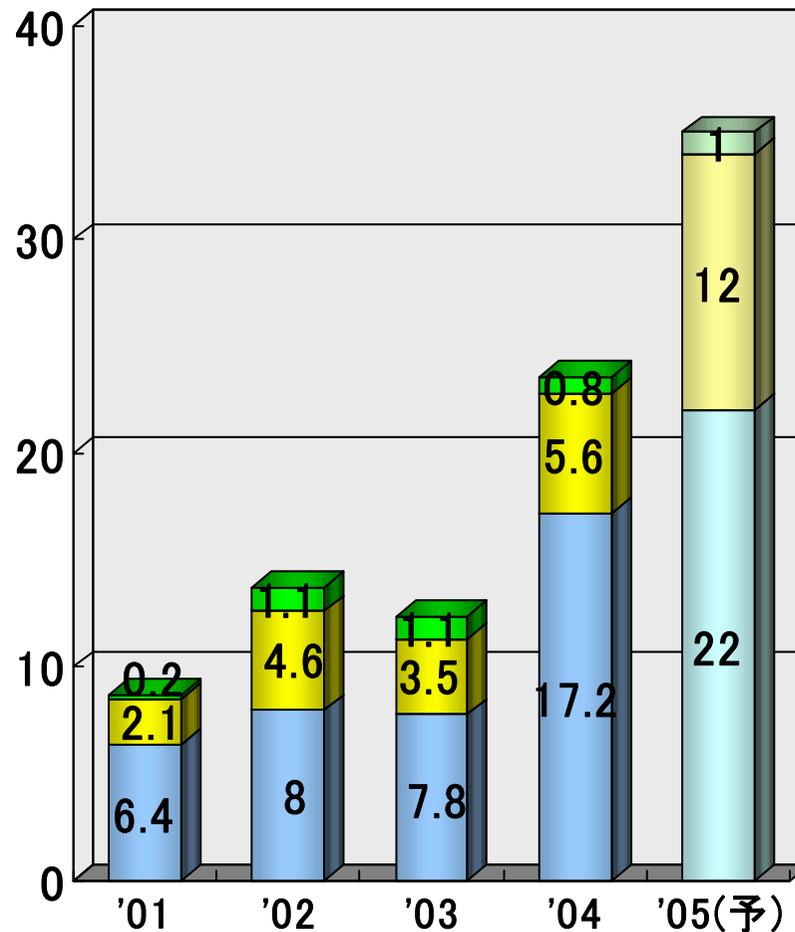
(億円)

《売上高》

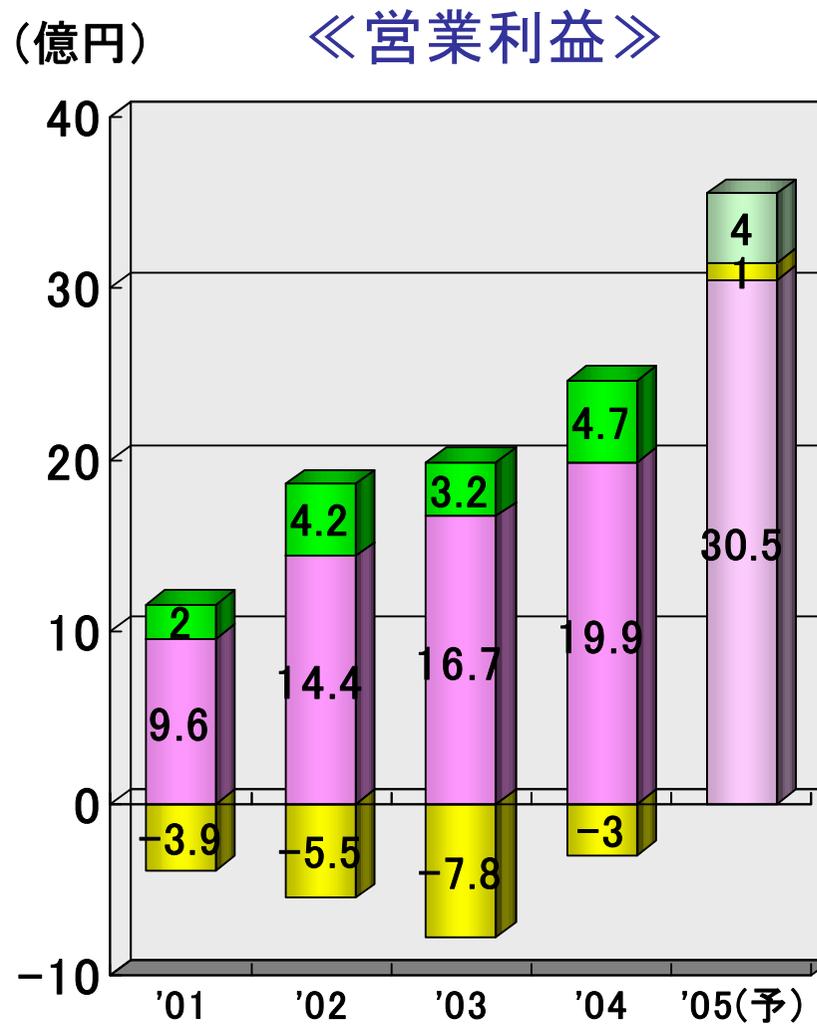
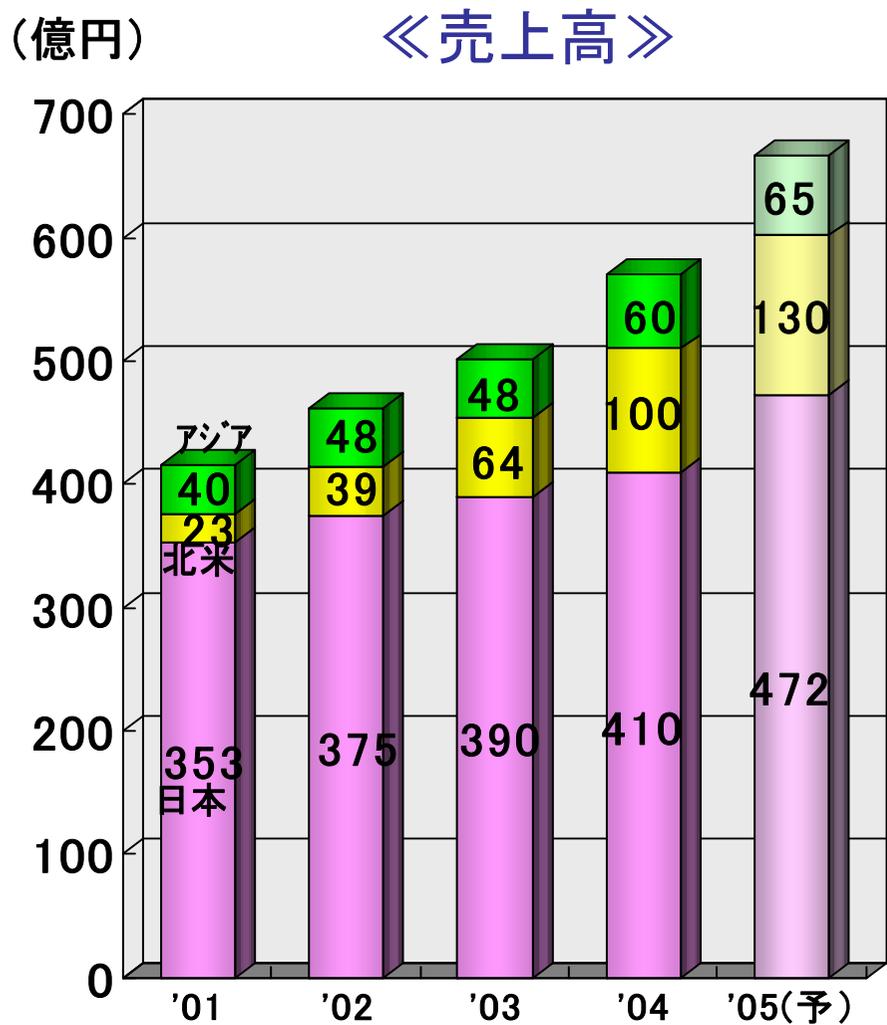


(億円)

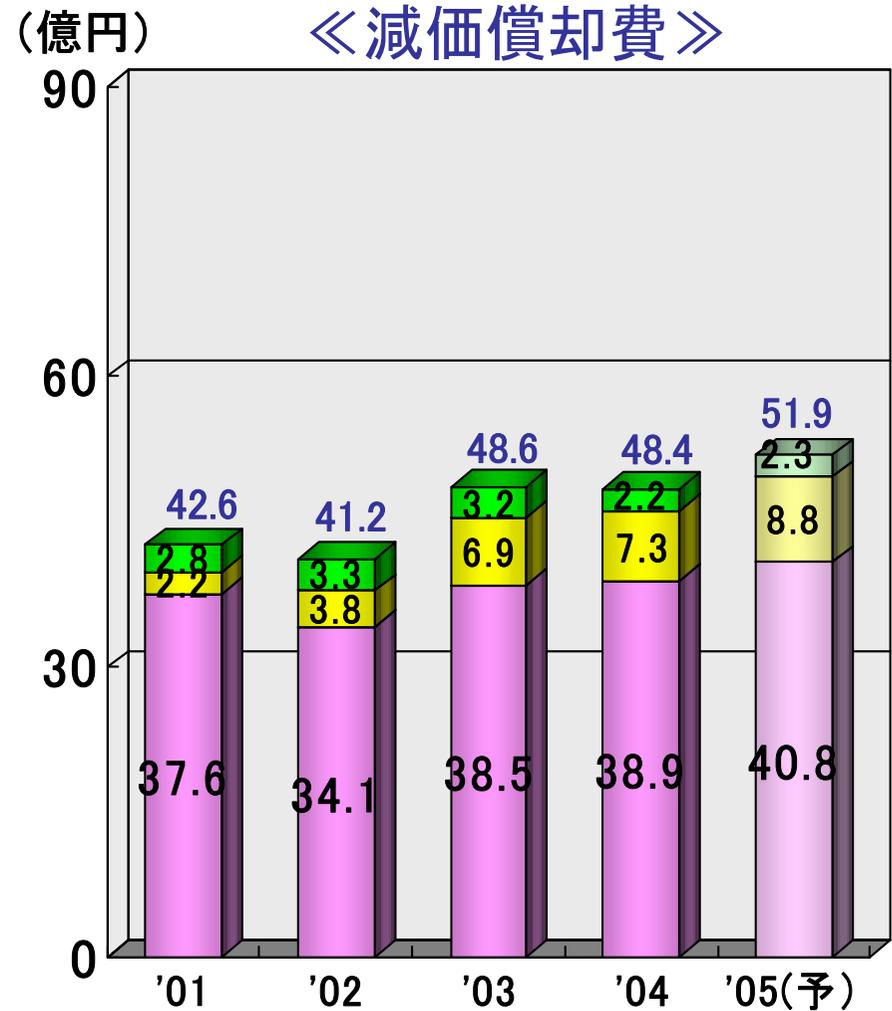
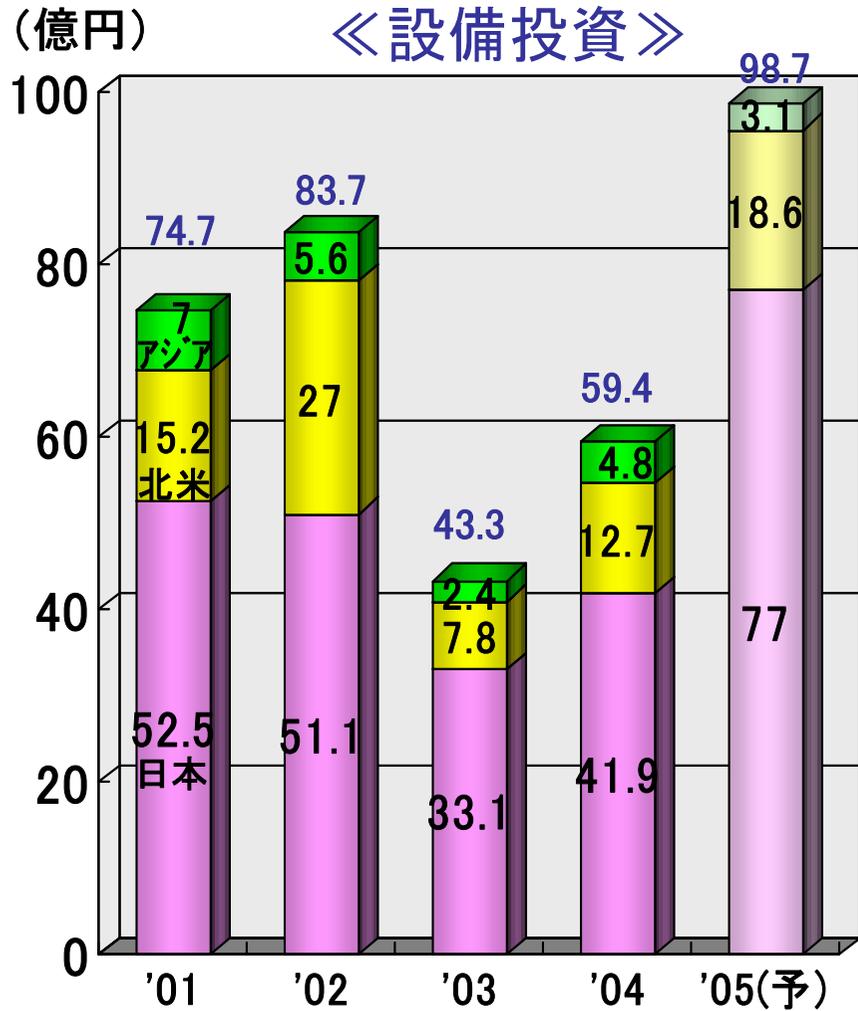
《営業利益》



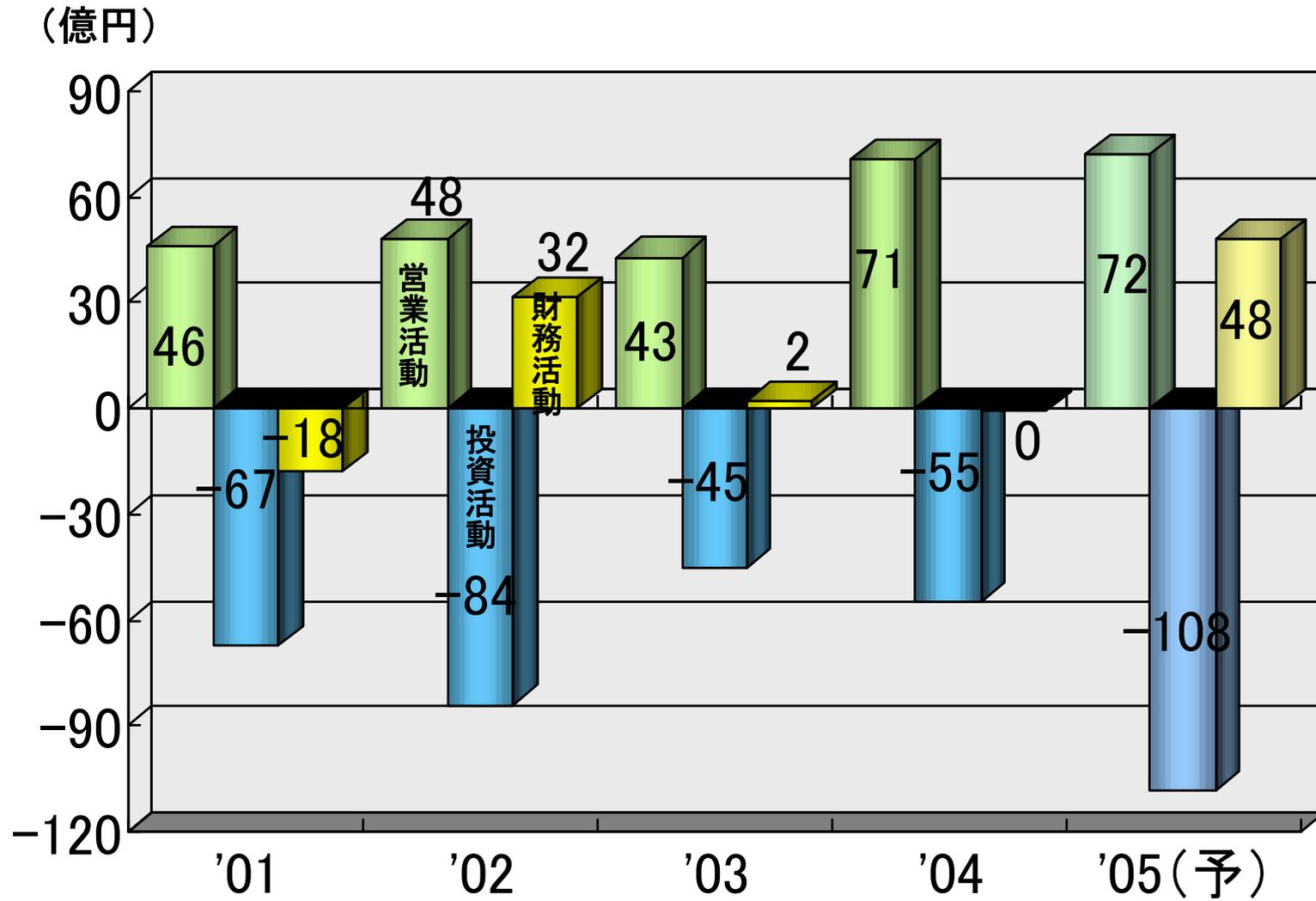
# 3-6 連結地域別セグメント



# 3-7 連結設備投資・減価償却費



# 3-8 連結キャッシュフロー



## 4-1 中期経営計画 CREATE75

— 当社創業75周年（'05年）をターゲットとした中期経営計画 —

### 1. 事業構造の変革と高収益基盤の確立

- ・新技術・製品・事業開発 ⇒ TPMS・工法改革・ソフト開発
- ・グローバル生産体制整備 ⇒ 北米プレス・中国拡充
- ・事業（製品）の“選択と集中” ⇒ 自動車制御機器

### 2. 企業体質の改革とスピード経営

- ・コスト革新（CMS） ⇒ 総コスト・固定費削減
- ・業務革新（BPR） ⇒ ERP導入・業務品質とリードタイム
- ・人事システム再構築と年金対応（代行返上・401K導入）

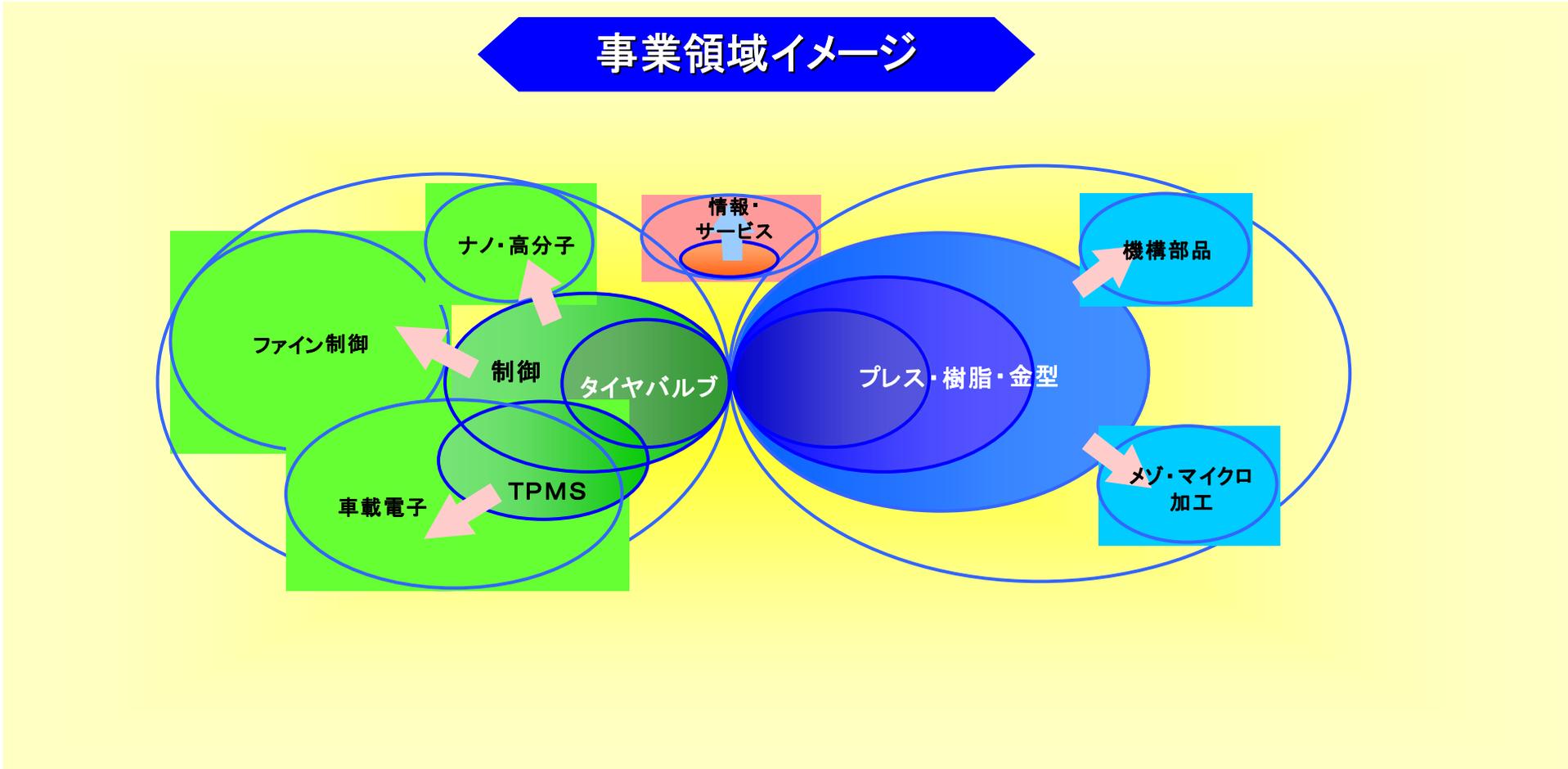
# 4-2 中期経営計画 CREATE75

(億円)

		'03				'04				'05			
		目標		実績		目標		実績		目標		予想	
			売上比										
連結	売上高	502	—	502	—	536	—	571	—	597	—	667	—
	経常利益	13	2.7%	14	2.9%	24	4.6%	28	5.0%	35	5.9%	36	5.4%
個別	売上高	409	—	412	—	408	—	437	—	452	—	510	—
	経常利益	17	4.3%	18	4.5%	20	5.0%	24	5.5%	28	6.3%	33	6.6%
	固定費	170	41.7%	170	41.2%	169	41.5%	173	39.7%	176	39.0%	190	37.5%
	設備投資	41	—	34	—	44	—	39	—	75	—	65	—

# 4-3 PACIFIC GLOCAL VISION 2015

- ・基幹事業としての自動車関連事業領域の拡大
- ・新規事業領域の拡大

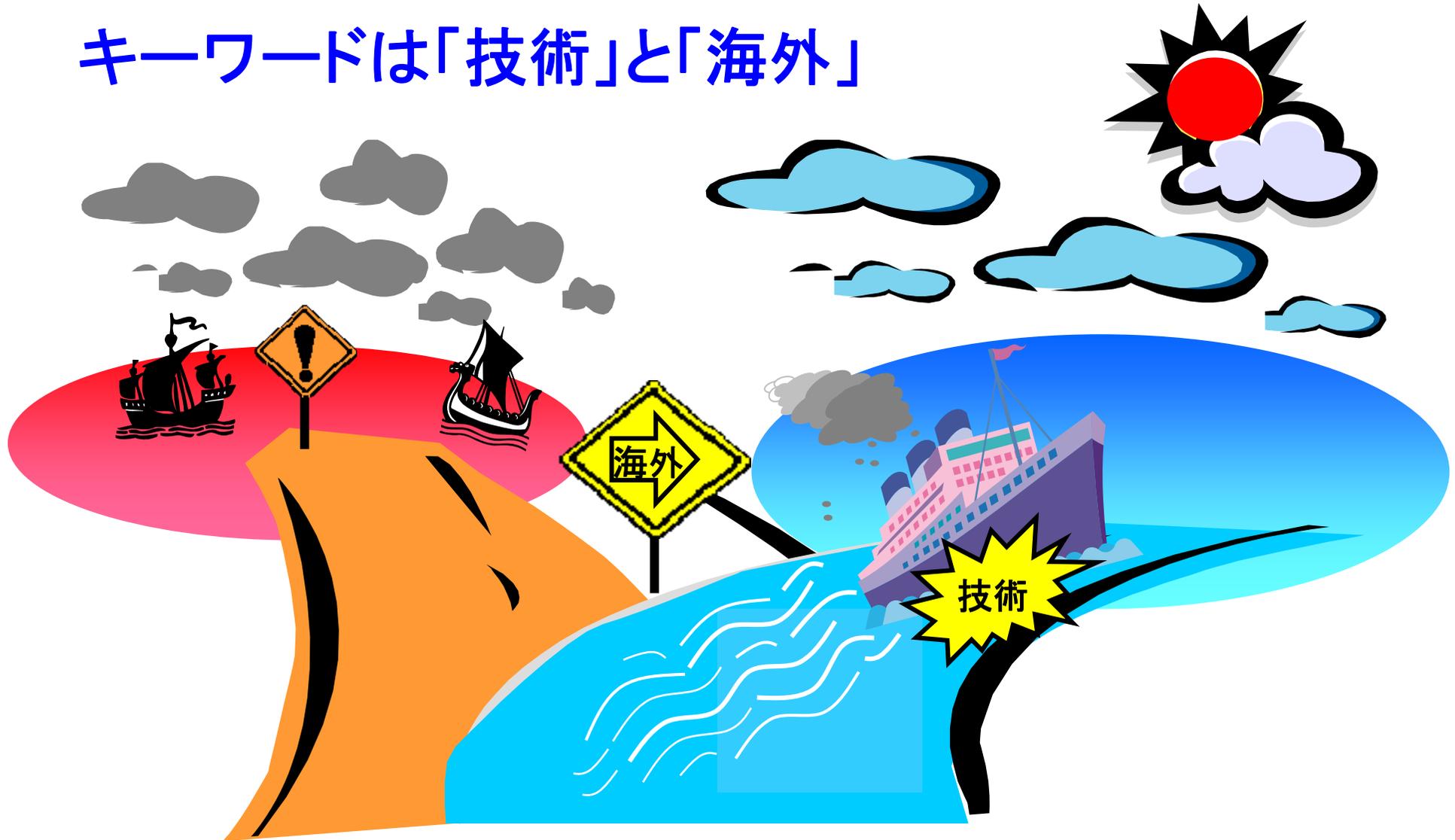


## 4-4 事業環境の認識(～2010年)

1. 海外自動車生産台数の急拡大
  - ・北米、BRICs・・・
2. 部品メーカーのグローバル化
  - ・TPMSのシステムメーカー参入
3. 部品の「高機能化」と「低コスト化」
  - ・自動車の2極分化への対応

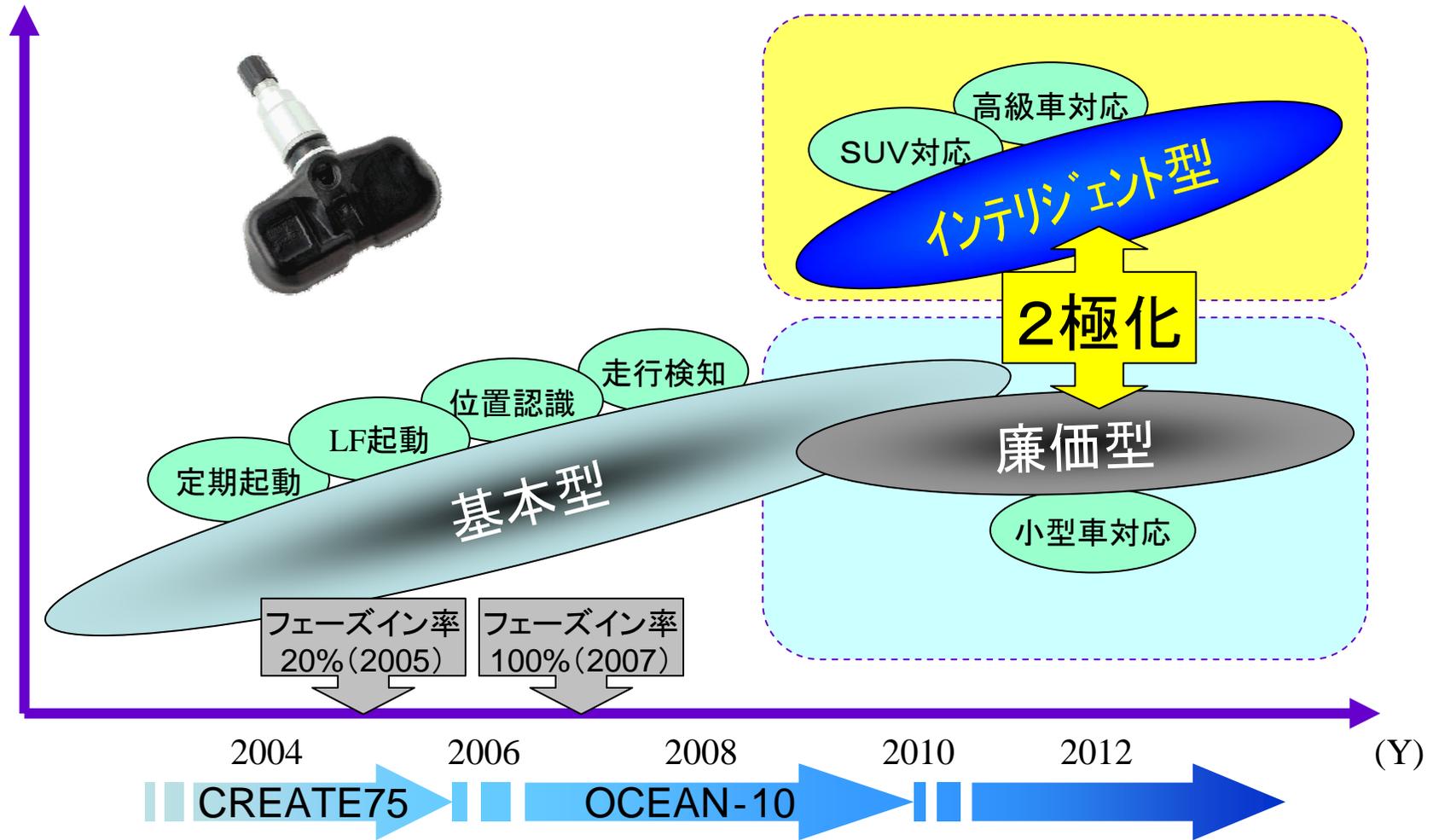
# 4-5 OCEAN-10(新 中期経営計画)

キーワードは「技術」と「海外」



# 4-6 TPMSの技術開発

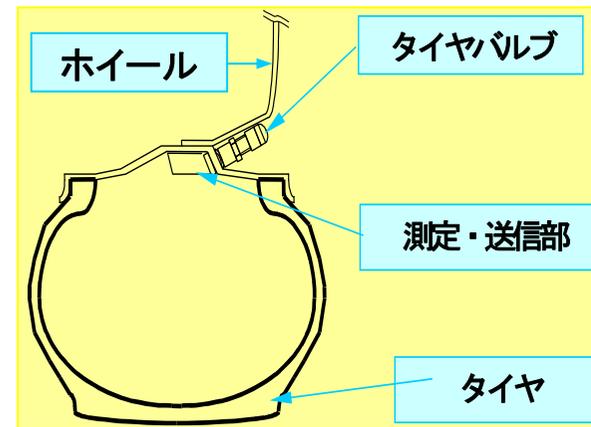
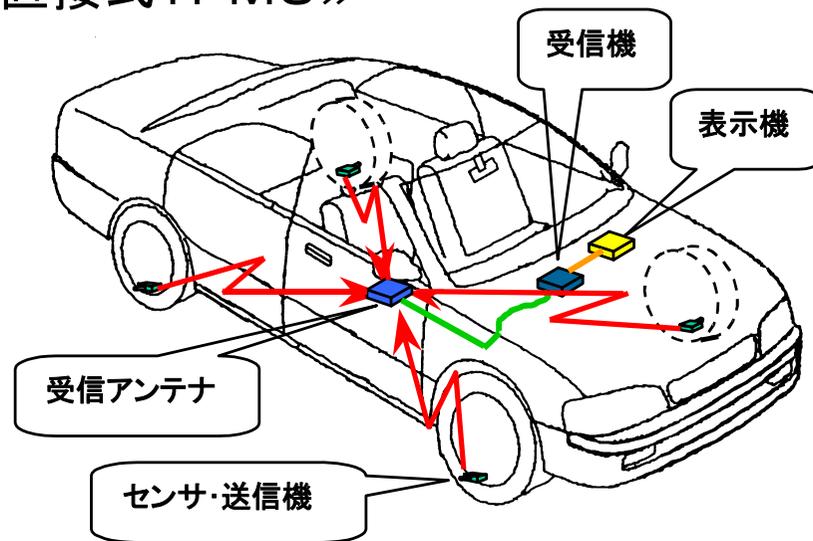
・バルブ事業・制御機器事業で培った技術をベースにTPMSの進化を追及しつづける



## 4-7 TPMSの概要

### Tire Pressure Monitoring System (タイヤ空気圧監視システム)

#### 《直接式TPMS》



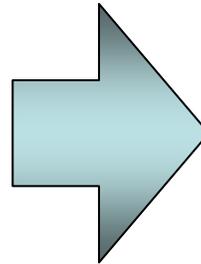
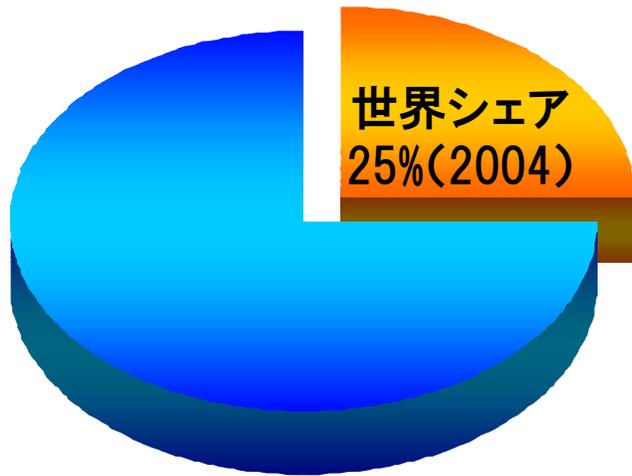
センサ・送信機

タイヤ内部のセンサで測定した圧力、温度等のデータを無線で送信し、車体側の受信アンテナで受信したデータを処理し、表示機で運転者に表示等でタイヤ内の状態を知らせる。

# 4-8 TPMSの北米展開

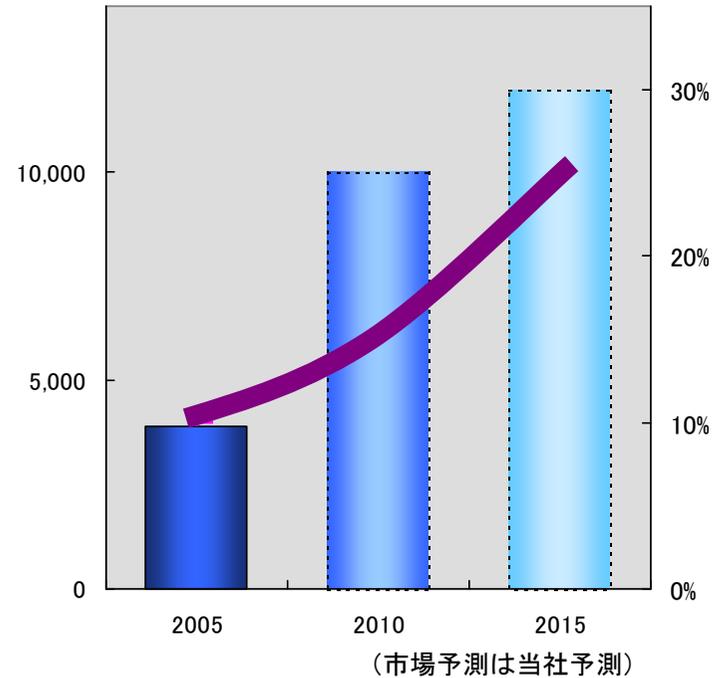
## 日系メーカーでの足固めとBIG3への参入

《タイヤバルブの世界におけるシェア》



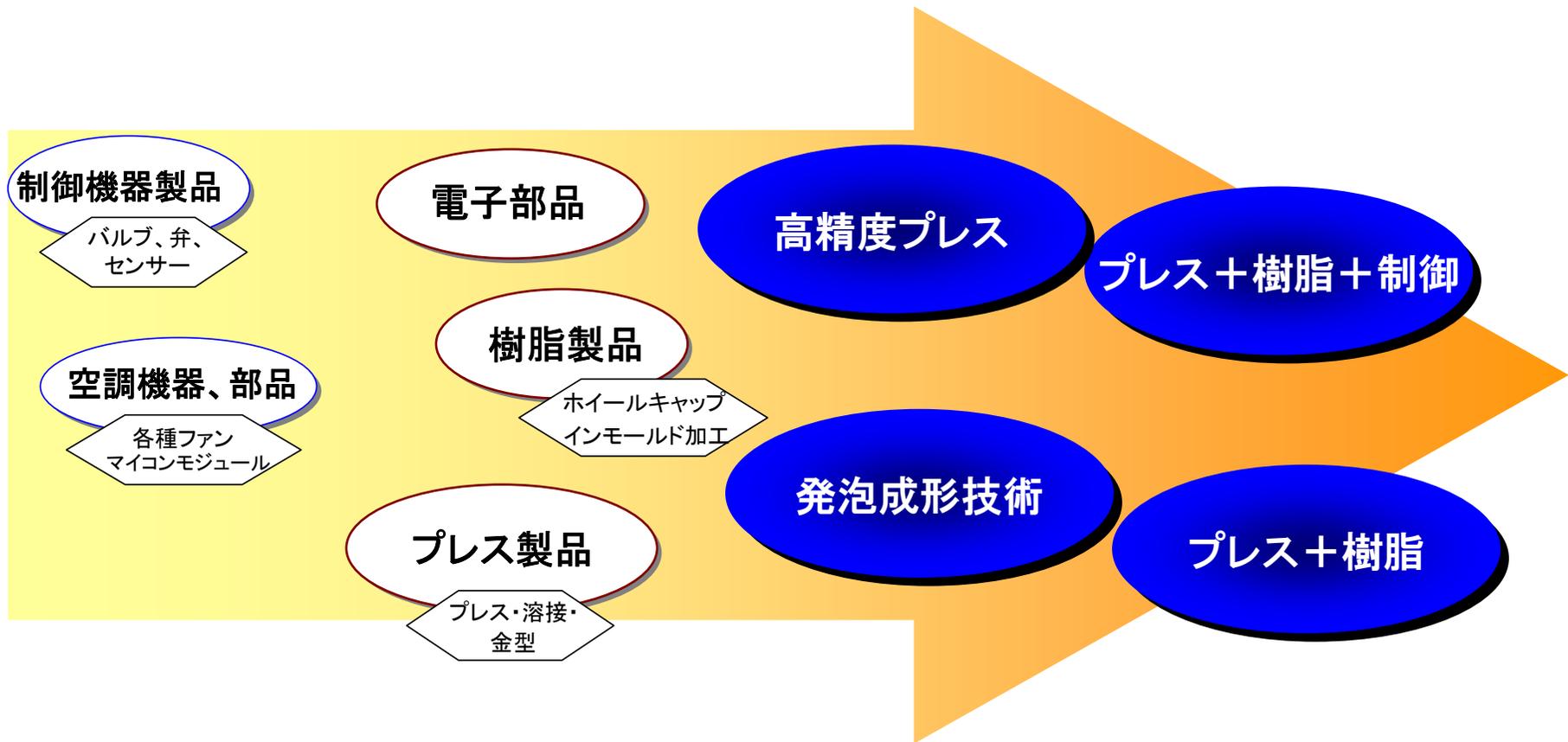
《TPMSの世界における目標シェア》

(万個)



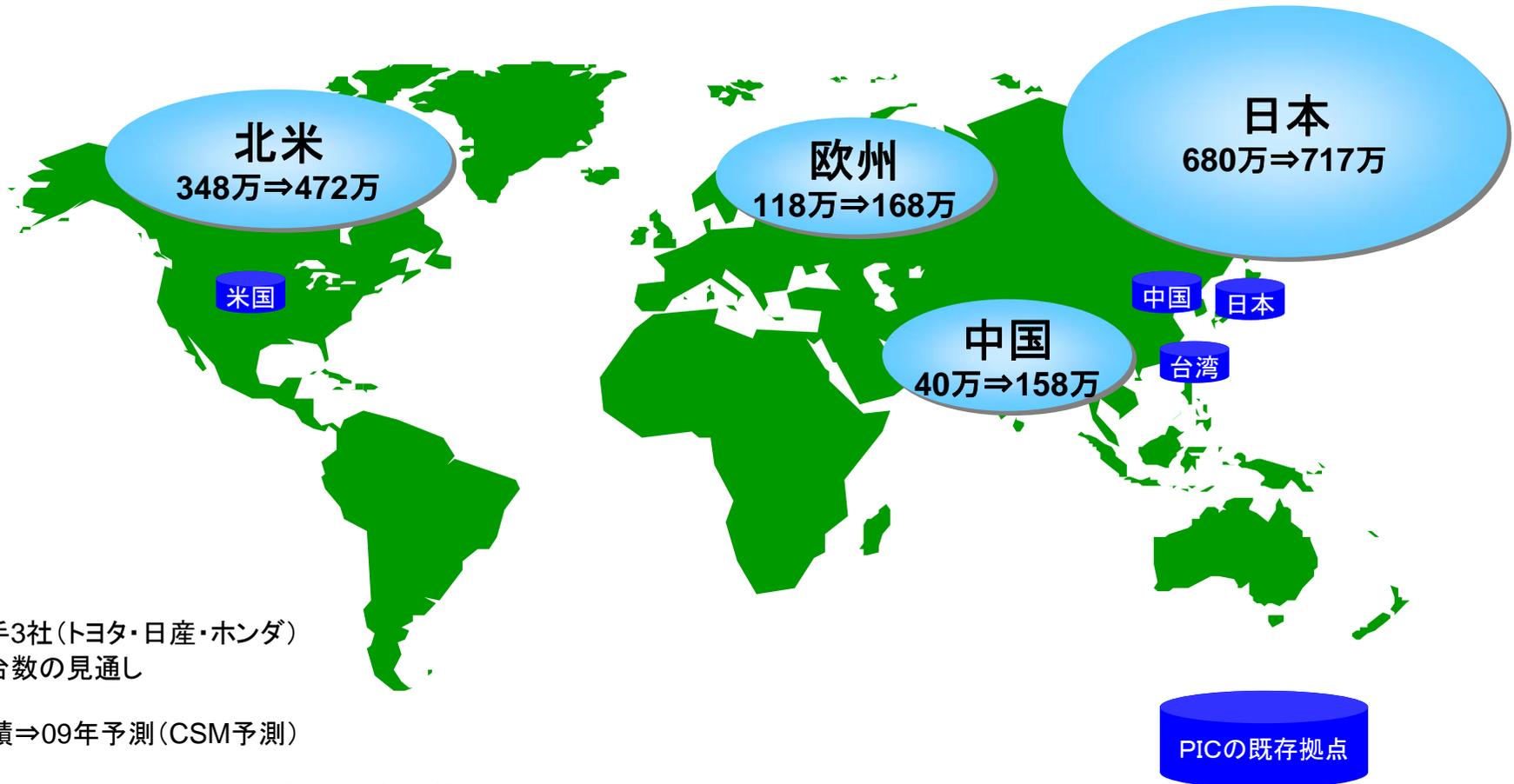
# 4-9 プレスの技術開発

・プレス・樹脂・電子制御の総合技術力を発揮して、高付加価値製品への構造転換を進める



# 4-10 プレスのグローバル展開

## ・日系メーカーのグローバル展開に対応



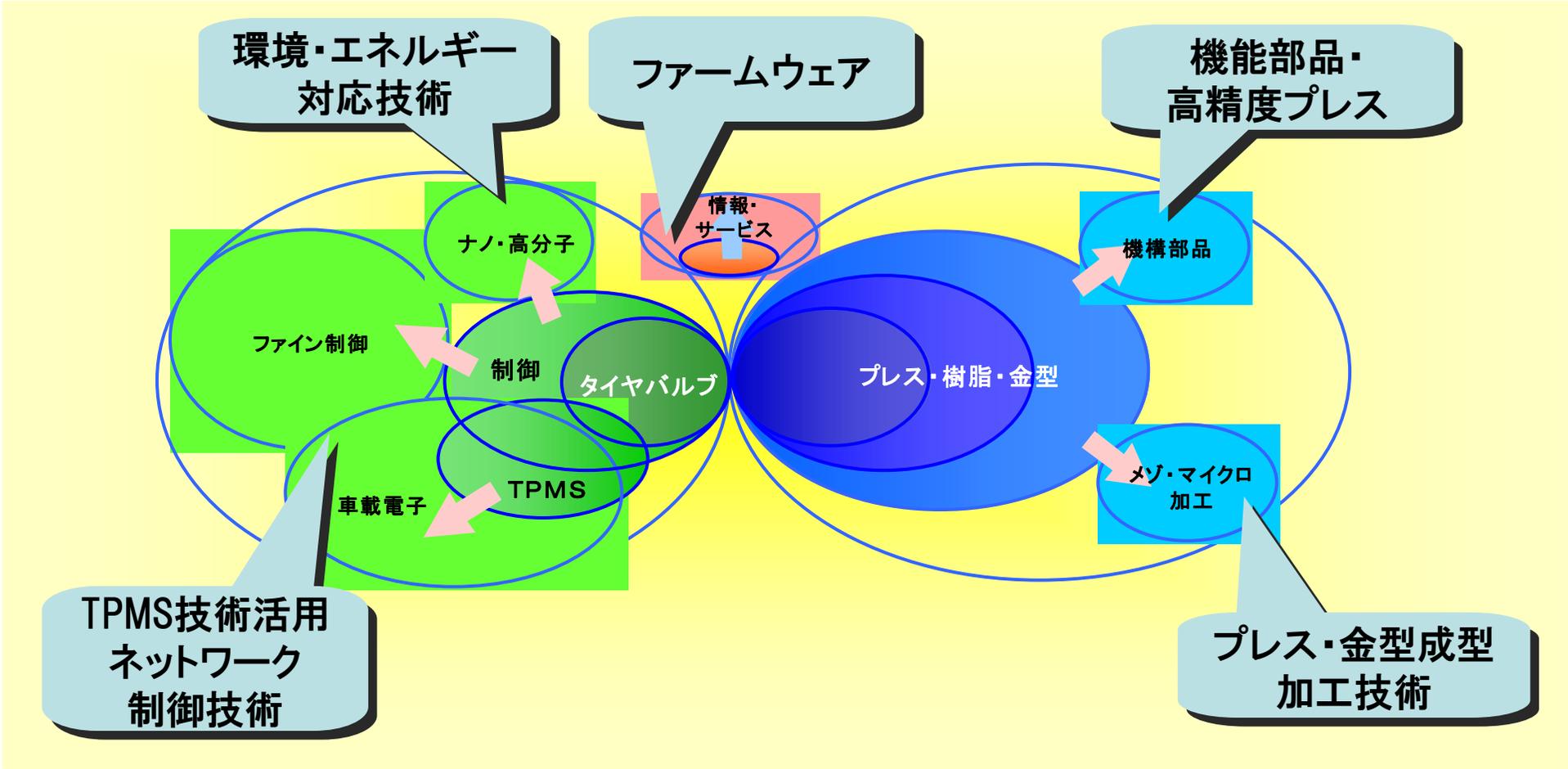
日本大手3社(トヨタ・日産・ホンダ)  
の生産台数の見通し

04年実績⇒09年予測(CSM予測)

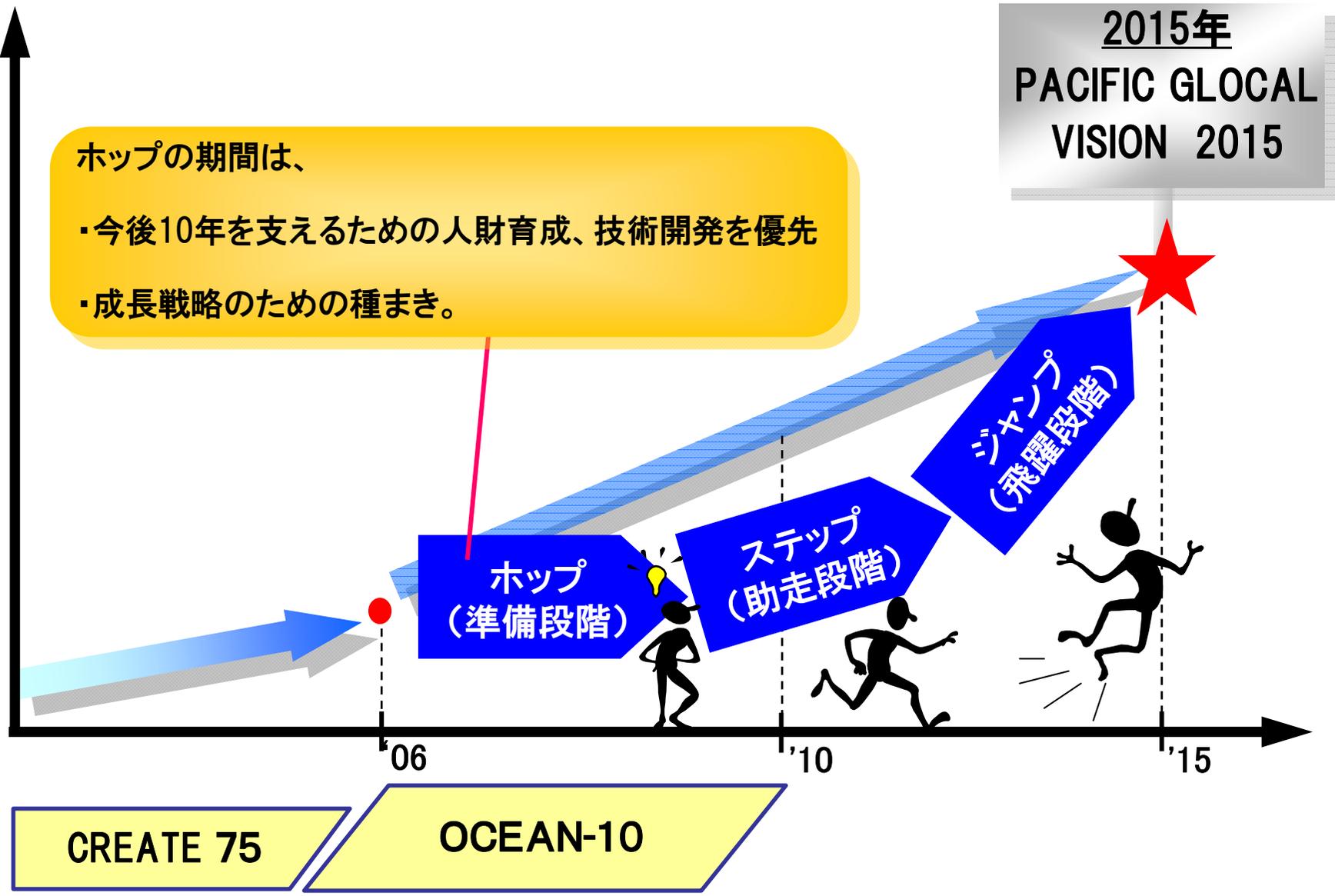
出所) CSM Worldwide “Light Vehicle Forecast (2005)”  
(Light Vehicle は乗用車と車両総重量 3.5t以下の小型商用車。)

# 4-11 全社の技術開発と事業展開

- ・技術開発の一層の深化により、既存領域の競争力強化、及び新規事業の発掘を進める



# 4-12 経営ロードマップ



**PACIFIC**

太平洋互業